

お城公園便所改修工事

図面リスト			
図面番号	建築工事	図面番号	機械設備工事
A - 01	特記仕様書(1)	M - 01	機械設備工事特記仕様書(1)
A - 02	特記仕様書(2)	M - 02	機械設備工事特記仕様書(2)
A - 03	特記仕様書(3)	M - 03	給排水衛生設備 凡例・衛生器具表
A - 04	特記仕様書(4)	M - 04	給排水衛生設備 平面図(改修前・改修後)
A - 05	附近見取図、面積表・求積図、配置図兼仮設計画図		
A - 06	仕上表、平面図(改修前・後)、屋根伏図、天井伏図		
A - 07	立面図(改修前・後)		
A - 08	矩計詳細図(改修前・後)		
A - 09	平面詳細図(改修前・後)		
A - 10	展開図(改修前・後)		
A - 11	建具指示図、建具表		
A - 12	部分詳細図		

③ 防水改修工事

Table with 3 columns: 工法, 種別, 施工箇所. Includes items like P1B, P1E, P2E, B-1, B-2, B-3, E-1, E-2.

改質アスファルトルーフィングシート
種類 ・ 改修標準仕様書(表3.3.3)～(表3.3.9)による ・ ()
厚さ ・ 改修標準仕様書(表3.3.3)～(表3.3.9)による ・ ()

断熱工法の断熱材 (P1B1, P2A1, T1B1, POD1, M3D1, M4D1)
材質 ・ ()
・ 押出法ポリスチレンフォーム断熱材 3種 b A (スキンあり)
・ 硬質ウレタンフォーム断熱材 2種 1号
・ 硬質ウレタンフォーム断熱材 2種 2号

脱気装置 (M3D, POD, POD1, M3D1, M4D1)
・ 設ける (設置数量 ・ 図示 (図面番号:)、材質 ())
・ 設けない

保護コンクリートの厚さ
こて仕上げ ・ 水下80mm以上 ・ ()
床タイル張り ・ 水下60mm以上 ・ ()

こて仕上げの場合のコンクリートの平たんさ
・ a種 ・ b種 ・ c種
保護層 ・ 設ける ・ 設けない
塵上排水溝の適用 ・ 適用する
立上り保護 ・ 乾式保護材 ()
・ れんが (材種 ・ JIS R1250)

改質アスファルトシート防水
種類 ・ 改修標準仕様書(表3.4.1)～(表3.4.3)による ・ ()
厚さ ・ 改修標準仕様書(表3.4.1)～(表3.4.3)による ・ ()

粘着層付改質アスファルトシート及び部分粘着層付改質アスファルトシート
種類 ・ 改修標準仕様書(表3.4.1)～(表3.4.3)による ・ ()
厚さ ・ 改修標準仕様書(表3.4.1)～(表3.4.3)による ・ ()

断熱工法の断熱材 (M3A1, M4A1, P0A1)
材質、厚さ ()
図示 ()

Table with 4 columns: 工法, 種別, 施工箇所, 仕上塗料. Includes M4AS, AS-T1, AS-T2, AS-J2.

脱気装置
・ 設ける (設置数量 ・ 図示 (図面番号:)、材質 ())
・ 設けない

ルーフィングシート
種類 ・ 改修標準仕様書(表3.5.1)～(表3.5.3)による ・ ()
厚さ ・ 改修標準仕様書(表3.5.1)～(表3.5.3)による ・ ()
絶縁用シート ・ 発泡ポリエチレンシート
固定金具の材質及び寸法形状 ・ 図示 ()
断熱工法の断熱材 (P0S1, S4S1, S3S1, M4S1)
材質、厚さ ()
・ 図示 ()

Table with 4 columns: 工法, 種別, 種別, 仕上塗料. Includes S3S, S-F1(S1-F1), S3S1, S-F2(S1-F2).

脱気装置
・ 設ける (設置数量 ・ 図示 (図面番号:)、材質 ())
・ 設けない

既存防水層下地がPCコンクリート部材の場合
目地処理 ・ 図示 (図面番号:)
増張り ・ 図示 (図面番号:)
機械式固定方法
風圧力に対応した工法 ・ 図示 (図面番号:)
保護層の施工 ・ 図示 (図面番号:)

Table with 4 columns: 工法, 種別, 施工箇所, 仕上塗料. Includes POX, L4X, X-1, X-2.

脱気装置
・ 設ける (設置数量 ・ 図示 (図面番号:)、材質 ())
・ 設けない

Table with 3 columns: 工法, 種別, 施工箇所. Includes P1Y, P2Y, Y-2.

保護層 ・ 図示 (図面番号:)

既存防水層表面の仕上塗装の除去
(M4AS, M4A1, M4C, M4D1) ・ 行う ・ 行わない
(L4X) ・ 行う ・ 行わない

⑥ シーリング

Table with 3 columns: 種類, 材種, 施工箇所. Includes SR-1, MS-2, PS-2, PU-2.

工法
・ シーリング充填工法
・ シーリング再充填工法
・ 拡幅シーリング再充填工法
・ フリッジ工法

シーリング材の試験
・ 簡易接着性試験 ・ 引張接着性試験 () 行わない

材質 ・ 硬質ポリ塩化ビニル管 (カラー) ・ 配管用鋼管 (白管)
()

Table with 3 columns: といの材種, 形状, 取付け間隔.

工法 ・ 図示 (図面番号:)

部材の種類

・ 押し出し250形
・ 押し出し300形
・ 押し出し350形
・ 板材折曲げ形 (本体幅 () mm、板厚 ・ 2.0mm ・ ())

固定金具の間隔 (mm)
固定方法 ()

表面処理 ()

工法
既存笠木等の撤去 ・ 図示 (図面番号:)
下地補修の工法 ・ 図示 (図面番号:)
板材折曲げ形の笠木の取付方法 ・ 図示 (図面番号:)
笠木固定金具の工法 ・ 図示 (図面番号:)

建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重に対応したか固定金具の間隔固定方法等は施工計画書として提出する。

④ 外壁改修工事

① 施工数量調査

・ 行う () 行わない
調査範囲 ・ 全面 ()
調査項目 ・ ひび割れ部 (・ 幅0.2mm未満 ・ 0.2mm以上～1.0mm以下 ・ 1.0mm以上超)
・ はがれ及びはく落部分
・ 浮き部
調査方法 ・ 打診、目視及びクラックスケール等 (・ 足場 ・ ゴンドラ)
報告書 2部 (立面図等に記載、必要に応じて写真添付)

Table with 3 columns: 外壁, 種類, 改修工法. Includes concrete repair, resin injection, tile replacement, etc.

③ 改修工法等

樹脂注入工法
種類 ・ 自動式低圧エポキシ樹脂注入工法
(4.2.2) (1)
(4.3.4) 注入量 () 注入間隔 ()
(4.4.5) 手動式エポキシ樹脂注入工法
(4.5.5) 注入量 () 注入間隔 ()
・ 機械式エポキシ樹脂注入工法
注入量 () 注入間隔 ()

材料 エポキシ樹脂JIS A6024 (建築補修用注入エポキシ樹脂)
・ 低粘度形 ・ 中粘度形
コア抜取検査 ・ 行う ・ 行わない
・ 抜取り箇所 ()
・ 抜取り部分補修方法 ()

Uカットシール材充填工法
(4.2.2) (2)
(4.3.5) 材料 ・ シーリング用材充填
(4.4.6) (・ PU-1 ・ PU-2 ・ ())
(4.5.6) ・ 可とう性エポキシ樹脂充填
シーリング材の上にポリマーセメントモルタル充填
・ 行う ・ 行わない

シール工法
(4.2.2) (3)
(4.3.6) 材料 ・ バテ状エポキシ樹脂
(4.4.7) ・ 可とう性エポキシ樹脂

充填工法
(4.2.2) (4)
(4.3.7) 材料 ・ エポキシ樹脂モルタル
(4.4.8) ・ ポリマーセメントモルタル

モルタル塗替え工法
(4.2.2) (7)
(4.4.9) 材料 ・ 現場調査材料 ・ 既調査材料
・ 既製目地材の適用及び形状 ()
・ 仕上げ厚 ()

アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法
(4.2.2) (5)
(4.4.10) アンカーピンの本数 ・ 標準 ・ ()
(図4.4.1) 材料 ・ ステンレス鋼 (SUS 304) ・ ()

アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法
(4.2.2) (5)
(4.4.11) アンカーピンの本数及び注入口の数 ・ 標準 ・ ()
(図4.4.2) 材料 ・ ステンレス鋼 (SUS 304) ・ ()

アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法
(4.2.2) (5)
(4.4.12) アンカーピンの本数及び注入口の数 ・ 標準 ・ ()
(図4.4.2) 材料 ・ ステンレス鋼 (SUS 304) ・ ()

注入口付アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法
(4.2.2) (6)
(4.4.13) 注入口付アンカーピンの本数 ・ 標準 ・ ()
(図4.4.3) 材料 ・ ステンレス鋼 (SUS 304) ・ ()
呼び径 ・ 6mm ・ ()

注入口付アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法
(4.2.2) (6)
(4.4.14) 注入口付アンカーピンの本数及び注入口の数 ・ 標準 ・ ()
(図4.4.4) 材料 ・ ステンレス鋼 (SUS 304) ・ ()
呼び径 ・ 6mm ・ ()

注入口付アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法
(4.2.2) (6)
(4.4.15) 注入口付アンカーピンの本数及び注入口の配置 ・ 標準 ・ ()
(図4.4.4) 材料 ・ ポリマーセメントスラリー ()
・ 注入口付アンカーピン (・ ステンレス鋼 (SUS 304) ・ ())
呼び径 ・ 6mm ・ ()

タイル部分張替え工法
(4.2.2) (8)
(4.5.7) 張替え材料 ・ ポリマーセメントモルタル
・ 接着剤 (一液反応硬化形変成シリコン樹脂) ・ ()

Table with 5 columns: 施工箇所, 形状, 寸法, 耐滑り性, 標準・特注色の別, 耐凍害性の有無.

・ 役物 (・ 一体成形 ・ 接着加工)
・ 試験張り ・ 行う ・ 行わない
・ 見本焼き ・ 行う ・ 行わない
・ 既調査モルタル ・ 使用する ・ 使用しない

タイル張替え工法
(4.2.2) (8)
(4.5.8) タイルの種類 タイルの大きさ 工法 塗り厚(mm)
(表4.5.4)

Table with 4 columns: 外装 タイル, ユニットタイル, タイルの種類, タイルの大きさ, 工法, 塗り厚(mm).

注入口付アンカーピンニングエポキシ樹脂注入タイル固定工法
(4.5.15) 注入口付アンカーピンの本数 (本)

目地ひび割れ部改修工法
(4.2.2) (9)
(4.5.16) 伸縮調整目地改修工法
伸縮調整目地 (位置 寸法 ×)
検査 シーリング接着性試験
・ 行う (・ 簡易接着性試験 ・ 引張接着性試験)

Table with 4 columns: 工面種別/Drawing, Check, No., 合資会社 重企建築事務所.

Table with 2 columns: 工事名/Title, 縮尺/Scale. Title: お城公園便所改修工事.

Table with 2 columns: 図面種別/Drawing, 縮尺/Scale. Title: 特記仕様書(2).

Table with 2 columns: Check, No. No.: A-02.

合資会社 重企建築事務所
Jyuki Architectural Design Office
一級建築士事務所 三重県知事登録第1-300号
一級建築士国土交通大臣登録第167163号 山田 裕治

4 塗り仕上げ (4.2.2)(10) (表4.2.4(その1) (その2))	種類	呼び名	仕上げ形状	工法																																						
	薄付け仕上塗材	・ 外装薄塗材E	・ 砂壁状 ・ ゆず肌状 ・ 平坦ん状 ・ 凹凸状	吹付け こて																																						
			・ ゆず肌状 ・ さざ波状	ローラー																																						
	厚付け仕上塗材	・ 外装厚塗材C	・ ()	・ ()	吹付け こて																																					
・ 外装厚塗材S1 ・ 外装厚塗材E			・ 吹放し ・ 凸部処理 ・ 平坦ん状 ・ 凹凸状 ・ ひき起し ・ 掻き落とし	吹付け こて																																						
複層仕上塗材	・ 複層塗材E ・ 複層塗材RE ・ 防水形複層塗材E ・ 防水形複層塗材RE	・ ゆず肌状 ・ 凸部処理 ・ 凹凸状	ローラー 吹付け																																							
可とう形改修用 仕上塗材	・ 可とう形改修塗材E ・ 可とう形改修塗材RE ・ 可とう形改修塗材CE	・ 平坦ん状 ・ さざ波状 ・ ゆず肌状	ローラー 吹付け																																							
(4.7.2) (表4.7.1) (表4.2.5)	<p>・ 外装厚塗Cの上塗材がセメントスタッコ以外の場合 材所要量 (kg/m²)</p> <p>・ マスチック塗材塗り ・ A種 ・ B種</p> <p>複層仕上塗材及び可とう形改修塗材の上塗材の種類</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>樹脂種類</th> <th>溶媒種類</th> <th>外 観</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">・ アクリル系</td> <td>・ 溶剤系</td> <td>・ 艶有 ・ 艶無 ・ メタリック</td> </tr> <tr> <td>・ 弱溶剤系</td> <td>・ 艶有 ・ 艶無</td> </tr> <tr> <td>・ 水系</td> <td>・ 艶有 ・ 艶無</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">・ シリカ系</td> <td>・ 水系</td> <td>・ 艶無</td> </tr> <tr> <td>・ 溶剤系</td> <td>・ 艶有 ・ 艶無 ・ メタリック</td> </tr> <tr> <td>・ 弱溶剤系</td> <td>・ 艶有 ・ 艶無</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">・ ポリウレタン系</td> <td>・ 水系</td> <td>・ 艶有 ・ 艶無</td> </tr> <tr> <td>・ 溶剤系</td> <td>・ 艶有 ・ 艶無 ・ メタリック</td> </tr> <tr> <td>・ 弱溶剤系</td> <td>・ 艶有 ・ 艶無</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">・ アクリル シリコン系</td> <td>・ 溶剤系</td> <td>・ 艶有 ・ 艶無 ・ メタリック</td> </tr> <tr> <td>・ 弱溶剤系</td> <td>・ 艶有 ・ 艶無</td> </tr> <tr> <td>・ 水系</td> <td>・ 艶有 ・ 艶無</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">・ ふっ素系</td> <td>・ 溶剤系</td> <td>・ 艶有 ・ 艶無 ・ メタリック</td> </tr> <tr> <td>・ 弱溶剤系</td> <td>・ 艶有 ・ 艶無</td> </tr> <tr> <td>・ 水系</td> <td>・ 艶有 ・ 艶無</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 艶無及びメタリックは、可とう形複層塗材、防水形複層塗材、及び可とう形改修塗材には適用しない。</p>				樹脂種類	溶媒種類	外 観	・ アクリル系	・ 溶剤系	・ 艶有 ・ 艶無 ・ メタリック	・ 弱溶剤系	・ 艶有 ・ 艶無	・ 水系	・ 艶有 ・ 艶無	・ シリカ系	・ 水系	・ 艶無	・ 溶剤系	・ 艶有 ・ 艶無 ・ メタリック	・ 弱溶剤系	・ 艶有 ・ 艶無	・ ポリウレタン系	・ 水系	・ 艶有 ・ 艶無	・ 溶剤系	・ 艶有 ・ 艶無 ・ メタリック	・ 弱溶剤系	・ 艶有 ・ 艶無	・ アクリル シリコン系	・ 溶剤系	・ 艶有 ・ 艶無 ・ メタリック	・ 弱溶剤系	・ 艶有 ・ 艶無	・ 水系	・ 艶有 ・ 艶無	・ ふっ素系	・ 溶剤系	・ 艶有 ・ 艶無 ・ メタリック	・ 弱溶剤系	・ 艶有 ・ 艶無	・ 水系	・ 艶有 ・ 艶無
樹脂種類	溶媒種類	外 観																																								
・ アクリル系	・ 溶剤系	・ 艶有 ・ 艶無 ・ メタリック																																								
	・ 弱溶剤系	・ 艶有 ・ 艶無																																								
	・ 水系	・ 艶有 ・ 艶無																																								
・ シリカ系	・ 水系	・ 艶無																																								
	・ 溶剤系	・ 艶有 ・ 艶無 ・ メタリック																																								
	・ 弱溶剤系	・ 艶有 ・ 艶無																																								
・ ポリウレタン系	・ 水系	・ 艶有 ・ 艶無																																								
	・ 溶剤系	・ 艶有 ・ 艶無 ・ メタリック																																								
	・ 弱溶剤系	・ 艶有 ・ 艶無																																								
・ アクリル シリコン系	・ 溶剤系	・ 艶有 ・ 艶無 ・ メタリック																																								
	・ 弱溶剤系	・ 艶有 ・ 艶無																																								
	・ 水系	・ 艶有 ・ 艶無																																								
・ ふっ素系	・ 溶剤系	・ 艶有 ・ 艶無 ・ メタリック																																								
	・ 弱溶剤系	・ 艶有 ・ 艶無																																								
	・ 水系	・ 艶有 ・ 艶無																																								
(表4.2.6)	<p>外壁用塗膜防水材の仕上げの形状及び工法</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>仕上げの形状</th> <th>工法</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">外壁用塗膜防水材</td> <td>・ 凹凸状</td> <td rowspan="2">・ 吹付け</td> </tr> <tr> <td>・ 凸部処理</td> </tr> <tr> <td>・ ゆず肌状</td> <td rowspan="2">・ ローラー</td> </tr> <tr> <td>・ さざ波状</td> </tr> </tbody> </table>				種類	仕上げの形状	工法	外壁用塗膜防水材	・ 凹凸状	・ 吹付け	・ 凸部処理	・ ゆず肌状	・ ローラー	・ さざ波状																												
種類	仕上げの形状	工法																																								
外壁用塗膜防水材	・ 凹凸状	・ 吹付け																																								
	・ 凸部処理																																									
	・ ゆず肌状	・ ローラー																																								
	・ さざ波状																																									
(4.6.3)	<p>既存塗膜等の除去及び下地処理</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>工 法</th> <th>処理範囲</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・ サンダー工法</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 高圧水洗工法</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 塗膜はく離剤工法</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 水洗い工法 (・ 高圧ポンプ (10~15MPa) ・ テッキブラシ)</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>				工 法	処理範囲	・ サンダー工法		・ 高圧水洗工法		・ 塗膜はく離剤工法		・ 水洗い工法 (・ 高圧ポンプ (10~15MPa) ・ テッキブラシ)																													
工 法	処理範囲																																									
・ サンダー工法																																										
・ 高圧水洗工法																																										
・ 塗膜はく離剤工法																																										
・ 水洗い工法 (・ 高圧ポンプ (10~15MPa) ・ テッキブラシ)																																										
(4.6.4)	<p>下地調整</p> <p>・ C-1 ・ C-2 ・ CM-2 ・ E ・ ()</p>																																									

7 網戸 (5.2.3)(5)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 可動式 ・ 固定式 <p>防虫網の材質</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 合成樹脂製 ・ ガラス繊維入り合成樹脂製 ・ ステンレス(SUS316)製 <p>網目</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 16メッシュ ・ 18メッシュ
8 樹脂製建具 (5.3.2)~(5.3.5) (表5.3.1)~ (表5.3.3)	<p>外部に面する樹脂製建具の性能等級等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ A種 ・ B種 ・ C種 <p>・ 防音ドアセット、防音サッシ (等級)</p> <p>・ 断熱ドアセット、断熱サッシ (等級)</p> <p>ガラス</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 複層ガラス () <p>建具枠見込寸法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 図示 (図面番号:) <p>水切り</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 図示 (図面番号:) <p>ぜん板</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 図示 (図面番号:) <p>丁番</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 改修標準仕様書(表5.7.3)による ・ 図示 (図面番号:)
9 鋼製建具 (5.4.2)	<p>鋼製建具の性能等級</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 簡易気密性ドアセット ・ 外部に面する建具の耐風圧 ・ S-4 ・ S-5 ・ S-6 <p>・ 防音ドアセット、防音サッシ (等級)</p> <p>・ 断熱ドアセット、断熱サッシ (等級)</p> <p>・ 耐震ドアセット (等級)</p>
(5.4.4)	<ul style="list-style-type: none"> ・ H>2400又はW>950の建具 <p>鋼板類の厚さ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 図示 (図面番号:) ・ 改修標準仕様書表5.4.2による
10 鋼製軽量建具 (5.5.2) (5.5.5) (5.2.2)(2) (5.5.3) (5.5.4) (5.6.3)(1) (5.2.3)(1)	<p>鋼製軽量建具の性能等級</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 簡易気密性ドアセット ・ 防音ドアセット、防音サッシ (等級) ・ 断熱ドアセット、断熱サッシ (等級) ・ 耐震ドアセット (等級) <p>・ H>2400又はW>950の建具</p> <p>鋼板類の厚さ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 図示 (図面番号:) ・ 改修標準仕様書表5.5.1による <p>表面仕上げ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 塗装 ・ ビニル被覆鋼板 ・ カラー鋼板 ・ ステンレス鋼板 (・ HL ・ 鏡面) ・ ()
(1) ステンレス製 建具 (5.6.2) (5.4.2)	<p>ステンレス製建具の性能等級</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 簡易気密性ドアセット ・ 外部に面する建具の耐風圧 ・ S-4 ・ S-5 ・ S-6 <p>・ 防音ドアセット、防音サッシ (等級)</p> <p>・ 断熱ドアセット、断熱サッシ (等級)</p> <p>・ 耐震ドアセット (等級)</p>
(5.6.3)	<p>材料</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ SUS304 ・ ()
(5.6.4)	<p>表面仕上げ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ HL仕上げ ・ ()
(5.6.5)	<p>曲げ加工</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 普通曲げ ・ 角出し曲げ
(12) 建具用金物 (5.7.2)	<p>金物の見え掛かり部等の材質等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 改修標準仕様書(表5.7.1)による ・ 図示 (図面番号:)
(5.7.4)	<p>マスターキー</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 製作する ・ 製作しない <p>引渡用鍵箱</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 必要 ・ 不要
13 自動ドア開閉 装置 (5.8.2)	<p>駆動装置及び検出装置の性能値 (・ 多機能トイレ出入口)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 図示 (図面番号:)
(5.8.3) (表5.8.4)	<p>引き戸用検出装置の種類</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 図示 (図面番号:)
(5.8.3)(7)	<p>凍結防止措置</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ あり ・ なし
(14) 自閉式上吊り 引戸装置 (5.9.3)	<p>自閉式上吊り引戸装置の性能値</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 改修標準仕様書(表5.9.1)による ・ ()
15 重量シャッター ー (5.10.2)	<p>種類</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 一般重量シャッター ・ 外壁用防火シャッター ・ 屋内用防火シャッター ・ 防煙シャッター <p>耐風圧強度 (Pa以上)</p>
(5.10.2)(3) (表5.10.1)	<p>開閉機能</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 上部電動式 (手動併用) ・ 上部手動式
(5.10.2)(6) (5.10.3)	<p>一般重量シャッターのシャッターケース</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 設ける ・ 設けない ・ めっき付着量 ・ Z12 ・ F12 ・ ()
16 軽量シャッター ー (5.11.2) (表5.11.1) (5.11.3) (5.11.4)	<p>開閉形式</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 上部電動式 (手動併用) ・ 手動式 <p>耐風圧強度 (Pa以上)</p> <p>スラットの材質及び形状</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ インターロッキング形 ・ オーバーラッピング形 ・ めっき付着量 JIS G 3312 ・ Z06 ・ F06 ・ () ・ JIS G 3322 ・ AZ90 ・ ()

17 オーバーヘッド ドア (5.12.2)	<p>型式及び機構</p> <p>セクション材料</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ スチールタイプ ・ アルミニウムタイプ ・ ファイバーグラストタイプ <p>耐風圧強度 (Pa以上)</p> <p>開閉方式</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ バランス式 ・ チェーン式 ・ 電動式 <p>収納形式</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ スタンダード形 ・ ローヘッド形 ・ ハイリフト形 ・ パーチカル形 																								
(5.12.3)	<p>ガイドレール</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 溶融亜鉛めっき鋼板 ・ ステンレス鋼板 																								
18 板ガラス (5.13.2)(1) (5.13.4)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 図示 (図面番号:) 																								
19 ガラス留め材 (5.13.2)(2)	<ul style="list-style-type: none"> ・ シーリング ・ ガasket () 																								
20 ガラス溝の寸 法、形状等 (5.13.3)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 図示 (図面番号:) ・ 改修標準仕様書 (表5.13.1) による 																								
21 ガラスブロッ ク積み (5.13.5)	<p>ガラスブロック</p> <p>表面形状、寸法、厚さ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 図示 (図面番号:) <p>金属枠、補強材</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 図示 (図面番号:) <p>化粧カバー</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 図示 (図面番号:) <p>工法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 図示 (図面番号:) <p>建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法を施行計画書として提出する。</p>																								
⑥ 内装 改修 工事	1 一般事項 (6.1.3)(2)	<p>既存間仕切壁の撤去に伴う取り合い部分の改修範囲</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>改修部分</th> <th>改修範囲</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・ 天井</td> <td>・ 図示 (図面番号:)</td> </tr> <tr> <td>・ 壁</td> <td>・ 図示 (図面番号:)</td> </tr> <tr> <td>・ 床</td> <td>・ 図示 (図面番号:)</td> </tr> </tbody> </table>	改修部分	改修範囲	・ 天井	・ 図示 (図面番号:)	・ 壁	・ 図示 (図面番号:)	・ 床	・ 図示 (図面番号:)															
	改修部分	改修範囲																							
	・ 天井	・ 図示 (図面番号:)																							
	・ 壁	・ 図示 (図面番号:)																							
	・ 床	・ 図示 (図面番号:)																							
	(6.1.3)(3)	<p>天井内の既存壁の撤去に伴う取り合い部の天井改修範囲</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 図示 (図面番号:) ・ () 																							
	(6.1.3)(5)	<p>天井の撤去に伴う取り合い部の壁面改修</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 図示 (図面番号:) ・ () 																							
	(2) 既存床撤去、下 地補修 (6.2.2)(1)(7)	<p>既存床仕上げ材の除去等</p> <p>浮き、欠損部等による下地モルタルの撤去</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 行う ・ 行わない 																							
	(6.2.2)(1)(4)	<p>合成樹脂塗料床材の除去等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 機械的除去工法 ・ 目荒し工法 																							
	(6.2.2)(3)	<p>改修後の床の清掃範囲</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 施工範囲及び施工によって汚れが生じた範囲 ・ () 																							
3 既存壁撤去、下 地補修 (6.3.2)	<p>既存間仕切壁の撤去に伴う他の構造体の補修工法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ () 																								
4 木下地等 (6.5.1)(3) (表6.5.1) (表6.5.2) (6.5.2)(1)(4) (表6.5.3)	<p>表面仕上げ</p> <p>機械加工</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ A種 ・ B種 ・ C種 <p>手加工</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ H-A種 ・ H-B種 ・ H-C種 <p>木材の含水率 (工事現場搬入時、質量比)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>部材名称</th> <th>種 別</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>下地材</td> <td>・ A種 ・ B種</td> </tr> <tr> <td>造作材</td> <td>・ A種 ・ B種</td> </tr> </tbody> </table>	部材名称	種 別	下地材	・ A種 ・ B種	造作材	・ A種 ・ B種																		
部材名称	種 別																								
下地材	・ A種 ・ B種																								
造作材	・ A種 ・ B種																								
(6.5.2)(2)(7)	<p>製材</p> <p>「製材の日本農林規格」による製材</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>部位</th> <th>樹種・寸法・形状</th> <th>等級</th> <th>含水率</th> <th>保存処理</th> <th>材面の品質</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>下地用 針葉樹製材</td> <td>・ 図示 (図面番号:)</td> <td>・ ()</td> <td>・ ()</td> <td>・ ()</td> <td>・ ()</td> </tr> <tr> <td>造作用 針葉樹製材</td> <td>・ 図示 (図面番号:)</td> <td>・ ()</td> <td>・ ()</td> <td>・ ()</td> <td>・ ()</td> </tr> <tr> <td>広葉樹製材</td> <td>・ 図示 (図面番号:)</td> <td>・ ()</td> <td>・ ()</td> <td>・ ()</td> <td>・ ()</td> </tr> </tbody> </table>	部位	樹種・寸法・形状	等級	含水率	保存処理	材面の品質	下地用 針葉樹製材	・ 図示 (図面番号:)	・ ()	・ ()	・ ()	・ ()	造作用 針葉樹製材	・ 図示 (図面番号:)	・ ()	・ ()	・ ()	・ ()	広葉樹製材	・ 図示 (図面番号:)	・ ()	・ ()	・ ()	・ ()
部位	樹種・寸法・形状	等級	含水率	保存処理	材面の品質																				
下地用 針葉樹製材	・ 図示 (図面番号:)	・ ()	・ ()	・ ()	・ ()																				
造作用 針葉樹製材	・ 図示 (図面番号:)	・ ()	・ ()	・ ()	・ ()																				
広葉樹製材	・ 図示 (図面番号:)	・ ()	・ ()	・ ()	・ ()																				
(6.5.2)(2)(4) (6.5.2)(2)(7) (表6.5.4)	<p>「製材の日本農林規格」以外の製材</p> <p>樹種、寸法、材面の品質、防虫処理、含水率</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 図示 (図面番号:) <p>造作材の材面の品質</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ A種 ・ () <p>樹種</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>部 位</th> <th>樹 種</th> <th>県 産 材</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	部 位	樹 種	県 産 材																					
部 位	樹 種	県 産 材																							
(6.5.2)(3)(7)	<p>造作用集成材</p> <p>「集成材の日本農林規格」による造作用集成材</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>部 位</th> <th>品 名 ・ 樹 種</th> <th>見付け材面の寸法・品質・数</th> <th>厚さ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>造作用集成材</td> <td>・ 図示 (図面番号:)</td> <td>・ 図示 (図面番号:)</td> <td rowspan="2">/</td> </tr> <tr> <td>化粧ばり造作用 集成材</td> <td>・ 図示 (図面番号:)</td> <td>・ 図示 (図面番号:)</td> </tr> <tr> <td>化粧ばり構造用 造作用集成材</td> <td>・ 図示 (図面番号:)</td> <td>・ 図示 (図面番号:)</td> <td>・ ()</td> </tr> </tbody> </table>	部 位	品 名 ・ 樹 種	見付け材面の寸法・品質・数	厚さ	造作用集成材	・ 図示 (図面番号:)	・ 図示 (図面番号:)	/	化粧ばり造作用 集成材	・ 図示 (図面番号:)	・ 図示 (図面番号:)	化粧ばり構造用 造作用集成材	・ 図示 (図面番号:)	・ 図示 (図面番号:)	・ ()									
部 位	品 名 ・ 樹 種	見付け材面の寸法・品質・数	厚さ																						
造作用集成材	・ 図示 (図面番号:)	・ 図示 (図面番号:)	/																						
化粧ばり造作用 集成材	・ 図示 (図面番号:)	・ 図示 (図面番号:)																							
化粧ばり構造用 造作用集成材	・ 図示 (図面番号:)	・ 図示 (図面番号:)	・ ()																						

・	・
・	・
・	・
・	・

工事名 / Title	図面種別 / Drawing
お城公園便所改修工事	特記仕様書 (3)
	縮尺 / Scale 原図 : A2 日付 / Date

Check	No.	<p>合資会社 重企建築事務所</p> <p>Jyuki Architectural Design Office</p> <p>一級建築士事務所 三重県知事登録第1-300号</p> <p>一級建築士国土交通大臣登録第167163号 山田 裕治</p>
	A-03	

(6.5.2)(3)(4)	「集材材の日本農林規格」以外の製材 樹種、寸法、見付け材面の品質 ・ 図示 (図面番号 :) 含水率 ・ 15%以下 ・ ()
(6.5.2)(4)(7)	造作用単板積層材 「単板積層材の日本農林規格」による造作用単板積層材 部位 品名・寸法 表面の品質 防虫処理 造作用単板積層材 ・ 図示 (図面番号 :) ・ () ・ ()
(6.5.2)(4)(4)	「単板積層材の日本農林規格」以外の造作用単板積層材 寸法、表面の品質、防虫処理 ・ 図示 (図面番号 :) 含水率 ・ 14%以下 ・ ()
(6.5.2)(5)	「直交集成材の日本農林規格」による直交集成材 品名、曲げ強度、種別、接着性能、樹種及び寸法 ・ 図示 (図面番号 :)
(6.5.2)(6)	合板等 品名 (品目) 樹種名 接着の程度 等級 板面の品質 防虫処理等 厚さ
(6.5.3)(1)	接合具等 造作材化粧面の釘打ち ・ 隠し釘打ち ・ ()
(6.5.3)(2)	諸金物 形状、寸法及び材質 ・ 図示 (図面番号 :)
(6.5.5)(1)	防腐、防蟻処理 適用部位 図示 (図面番号 :) 保存処理性能区分 () 薬剤の塗布等の処理方法 () 附属書Aに基づく表面処理用木材保存剤 ・ 適用する (・ 薬剤の種類 ()) ・ 適用部位 () ボード原料接着剤への防腐・防蟻処理 ()
(6.5.5)(2)	防虫処理 図示 (図面番号 :)
5 軽量鉄骨天井下地	野縁等の種類 ・ 屋内 ・ 19形 ・ () ・ 屋外 ・ 25形 ・ ()
(6.6.2) (表6.6.1) (6.6.3)	形式及び寸法 ・ 屋外 ・ 図示 (図面番号 :) ・ 耐震天井 ・ 図示 (図面番号 :) ・ ふところ≧1.5m ・ 改修標準仕様書(6.6.4)(8) ・ 図示 (図面番号 :)
(6.6.4)	既存埋込みインサート ・ 使用する ・ 使用しない (※使用する場合は、確認試験を行う) 既存埋込みインサート、あと施工アンカーの確認試験 ・ 行う (図示 (図面番号 :)) ・ 行わない () ・ 確認試験の箇所数 (箇所) ・ 確認強度 () 耐震性・耐風圧性を考慮した補強 ・ 図示 (図面番号 :)
⑥ 軽量鉄骨壁下地 (6.7.3)	スタッド、ランナー等の種類 ○ 図示 (図面番号 : A-12)
7 ビニル床シート、 ビニル床タイル 及びゴム床タイル張り	材料 ・ ビニル床シート【JIS A 5705 (ビニル系床材)】 種類の記号 色柄 厚さ 備考 FS 無地 2.0mm
(6.8.2) (6.8.2)(1)	
(6.8.2)(2)	・ ビニル床タイル【JIS A 5705 (ビニル系床材)】 種類の記号 色柄 寸法 厚さ 備考 KT 2.0mm
(6.8.2)(3)(7)(4)	・ 帯電防止床シート又は床タイル 種類 性能 寸法 厚さ 備考
(6.8.2)(3)(4)	・ 視覚障害者用床タイル 種類 形状 備考 ビニル床タイル 300×300×7.0mm
(6.8.2)(3)(5)	・ 耐動荷重性床シート 種類 厚さ 備考
(6.8.2)(3)(4)(8)	・ 防滑性床シート又は床タイル 種類 寸法 厚さ 備考
(6.8.2)(5)	・ ゴム床タイル 種類 色柄 寸法 厚さ 備考
(6.8.3)(1)	工法 下地 ・ モルタル塗り ・ セルフレベリング材塗り ・ 木下地 ・ その他 ()

(6.8.3)(2)(4)	ビニル床シート張り 熱溶接工法 ・ 適用する ・ 適用しない
8 カーベツト敷き (6.9.3)(1) (表6.9.1)	・ 織じゅうたん 種類 糸の種類 バイルの形状 帯電性 品質の程度 色柄 ・ A種 ・ そ毛 ・ カットバイル ・ 人体帯電圧 ・ B種 ・ 紡糸 ・ ループバイル ・ 3KV以下 ・ () ・ 無地 ・ C種 ・ () ・ カット、ループ併用 ・ () ・ 柄物 品質の程度欄に記載した商品名は、品質の程度を示すための参考商品名である。(以下同様)
(6.9.2)(2) (表6.9.2)	・ タフテッドカーベツト バイルの形状 バイル長(mm) 帯電性 工法 品質の程度 ・ カットバイル ・ ループバイル ・ カット、ループ併用 ・ ()
(6.9.2)(3)	・ ニードルパンチカーベツト 厚さ(mm) 帯電性 備考 ・ 人体帯電圧 3KV以下 ・ ()
(6.9.2)(4) (表6.9.2)	・ タイルカーベツト 種類 バイルの形状 寸法(mm) 総厚さ(mm) 品質の程度 ・ カットバイル ・ 500×500 ・ 6.5 ・ ループバイル ・ () ・ () ・ ()
(6.9.2)(5) (6.9.2)(6)	下敷き材 ・ 第2種第2号、厚さ8mm ・ () 見切り、押え金物 ・ 適用する (材質、種類及び形状 ・ 図示 (図面番号 :))
(6.9.3)(3)	織じゅうたんの接合方法 ・ ヒートボンド工法 ・ ()
(6.9.3)(5)	タイルカーベツトの敷き方 平場 ・ 市松敷き ・ 模様流し ・ () 階段部分 ・ 市松敷き ・ 模様流し ・ ()
9 合成樹脂塗床 (6.10.3)(2)(a) (表6.10.4) (6.10.3)(2)(b) (6.10.3)(3) (表6.10.5)~ (表6.10.8)	弾性ウレタン樹脂系塗床の仕上げ種類、工程 ・ 平滑仕上げ ・ 防滑仕上げ ・ つや消し仕上げ エポキシ樹脂系塗床の仕上げ種類 ・ 薄膜流しのべ仕上げ (・ 平滑 ・ 防滑) ・ 厚膜流しのべ仕上げ (・ 平滑 ・ 防滑) ・ 樹脂モルタル仕上げ (・ 平滑 ・ 防滑) ・ 薄膜型塗床仕上げ (・ 平滑)
10 フローリング張り (6.11.4) (表6.11.2)	・ 釘留め工法 材料 種類 樹種 ・ フローリングボード (根本張用) ・ 複合フローリング (根本張用) ・ A種 ・ B種 ・ C種 防湿処理 ・ 図示 (図面番号 :)
(6.11.5) (表6.11.5) (表6.11.6)	・ 接着工法 材種 樹種 厚さ 大きさ ・ フローリングボード (直張用) ・ フローリングブロック (直張用) ・ 複合フローリング (直張用) ・ A種 ・ B種 ・ C種 ・ なら ・ ()
(6.11.6)(3)	繊維材 ・ 合成樹脂発泡シート ・ 図示 (図面番号 :)
(6.11.6)(3)	塗装 ・ ウレタン樹脂ワニス塗り (1液形、B種) ・ オイルステイン塗りのうえワックス塗り ・ 生地のままワックス塗り ・ ()
11 畳敷き (6.12.2) (表6.12.1)	種類 ・ A種 ・ B種 ・ C種 ・ D種 ・ D種の畳床 KT- (・ I ・ II ・ III ・ K ・ N)
⑫ セッコウボード、 その他ボ ード及び合 板張り (6.13.2) (表6.13.1)	材種 種類 厚さ(mm) 壁 ・ 9.5(準不燃) ・ 12.5(不燃) 天井 ・ 9.5(準不燃) ・ 12.5(不燃) ・ 化粧セッコウボード ・ トラバーチン模様 ・ 9.5(不燃) ・ 9.5(準不燃) ・ 木目模様 ・ 9.5(不燃) ・ 9.5(準不燃) ・ ロックウール化粧吸音板 ・ 普通 ・ 9() ・ () ・ 立体模様 ・ 9() ・ () ・ けい酸カルシウム板 ・ タイプII 0.8FK ○ 強化セッコウボード ・ 15(不燃) ○ フレキシブルボード ・ 6(不燃)
(6.13.2)(8)	遮音シール材 ・ シーリング材 ・ ジョイントコンパウンド
(6.13.3)(5)(4)	合板類の張付け ・ A種 ・ B種
(6.13.3)(7)(7) (表6.13.5)	セッコウボードの目地工法 ・ 縦目処理 ・ 突付け ・ 目隠し
13 壁紙張り (6.14.2)	施工箇所 種類 防火性能 ・ 不燃 ・ 準不燃 ・ 不燃 ・ 準不燃 ・ 不燃 ・ 準不燃

⑬ モルタル塗り (6.15.3) (6.15.5) (6.15.6)	モルタル ○ 現場調合材料 ・ 既調合材料 既製目地材 ・ 使用する (形状 :) 床の目地 ・ 図示 (図面番号 :) 下地処理 ・ 壁面の仕上げ厚又は全塗り厚が25mm超 図示 (図面番号 :)
⑭ タイル張り (6.16.2) (6.16.3)	伸縮調整目地 位置 ・ 図示 (図面番号 :) タイルの種類 施工箇所 工法 種類 形状寸法 耐滑り性 うわぐすり 役物 標準・特注色の別 耐凍害性の有無 床 粘り下地 I 類 100×100 ○ 無し 壁 接着 III 類 100×100 有り 試験張り ・ 行う ○ 行わない 見本焼き ・ 行う ○ 行わない 既調合モルタル ・ 使用できる ・ 使用できない
(6.16.3)(2)	・ セッコウ系 ・ セメント系 塗厚 () mm
16 セルフレベ リング材塗り (6.17.2) (6.17.3)	断熱材打込み工法 種類 厚さ (mm) 施工箇所 ・ ビーズ法ポリスチレンフォーム ・ 押出法ポリスチレンフォーム ・ A種硬質ウレタンフォーム ・ フェノールフォーム
17 断熱材 (9.5.2)	断熱材現場発泡工法 (吹付硬質ウレタンフォーム) 種類 厚さ(mm) 施工箇所 ・ A種 1 ・ A種 1 H ・ () ・ () ・ 窓回り等の断熱材補修部分、ルーフトン回りの床版 下等、部分的に後張りとしなければならない箇所 ・ ()
(9.5.3)	断熱材現場発泡工法 (吹付硬質ウレタンフォーム)
⑰ 1 材料 (7.1.3)	・ 屋内の壁、天井仕上げは防火材料とする。 ・ 次の箇所を除き防火材料とする。(箇所 :)
⑱ 2 下地調整 (7.2.1~7.2.7) (表7.2.1)~ (表7.2.7)	既存塗膜の除去範囲 (塗り替えてR B種の場合) ・ 図示 (図面番号 :) 種別 下地 種別 ひび割れ部の補修 ○ 木部 ・ RA種 ○ RB種 ・ RC種 ○ 鉄鋼面 ・ RA種 ○ RB種 ・ RC種 ・ 亜鉛めっき鋼面 ・ RA種 ・ RB種 ・ RC種 ・ モルタル、プラスタ一面 ・ RA種 ・ RB種 ・ RC種 ・ 行う ・ コンクリート、ALCパネル面 ・ RA種 ・ RB種 ・ RC種 ・ 行う ・ コンクリート、押出成形セメント版面 ・ RA種 ・ RB種 ・ RC種 ・ 行う ・ セッコウボード、その他ボード面 ・ RA種 ・ RB種 ・ RC種
⑲ 3 錆止め塗料塗り (7.3.2) (7.3.3) (表7.3.1)~ (表7.3.4)	錆止め塗料種別 鉄鋼面 ・ A種 ○ B種 亜鉛めっき鋼面 ・ A種 ・ B種 ・ C種 錆止め塗料塗り種別 鉄鋼面 ・ A種 ・ B種 ・ C種 亜鉛めっき鋼面 ・ A種 ・ B種 ・ C種
⑲ 4 合成樹脂調合 ベイント塗り(SOP) (7.4.2) (7.4.3~7.4.5) (表7.4.1)~ (表7.4.3)	塗料種別 ・ 1種 ・ () 種別 下地 種別 ○ 木部 ・ A種 ○ B種 ・ C種 ○ 鉄鋼面 ・ A種 ○ B種 ・ C種 ・ 亜鉛めっき鋼面 ・ A種 ・ B種 ・ C種
5 クリヤラッカー 塗り(DL) (7.5.2) (表7.5.1)	種別 木部 ・ A種 ・ B種
6 アクリル樹脂系 非水分散形塗料 (NAD) (7.7.2) (表7.7.1)	種別 ・ A種 ・ B種
⑲ 7 耐候性塗料塗り (DP) (7.8.2)~ (7.8.4) (表7.8.1)~ (表7.8.3)	上塗り等級 ・ 1級 (フッ素系) ○ 2級 (シリコン系) ・ 3級 (ポリウレタン系) 下地 種別 鉄鋼面 ・ A種 ・ B種 ・ C種 亜鉛めっき鋼面 ・ A種 ・ B種 ・ C種 コンクリート面及び 押出成形セメント版面 ○ B-1種 ・ B-2種 ・ C-1種 ・ C-2種

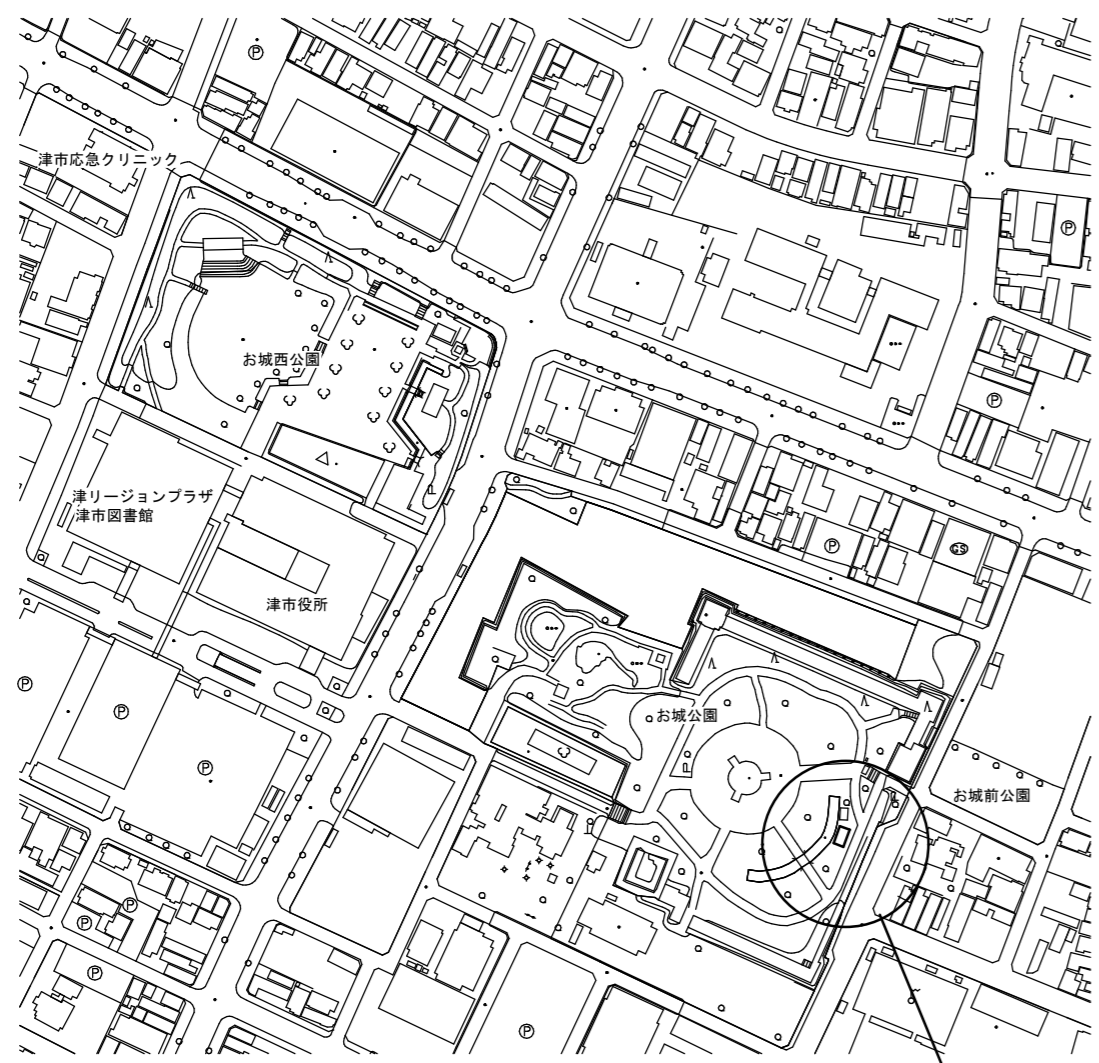
工事名 / Title
お城公園便所改修工事

図面種別 / Drawing
特記仕様書 (4)
縮尺 / Scale 原図 : A2 日付 / Date

Check

No.
A-04

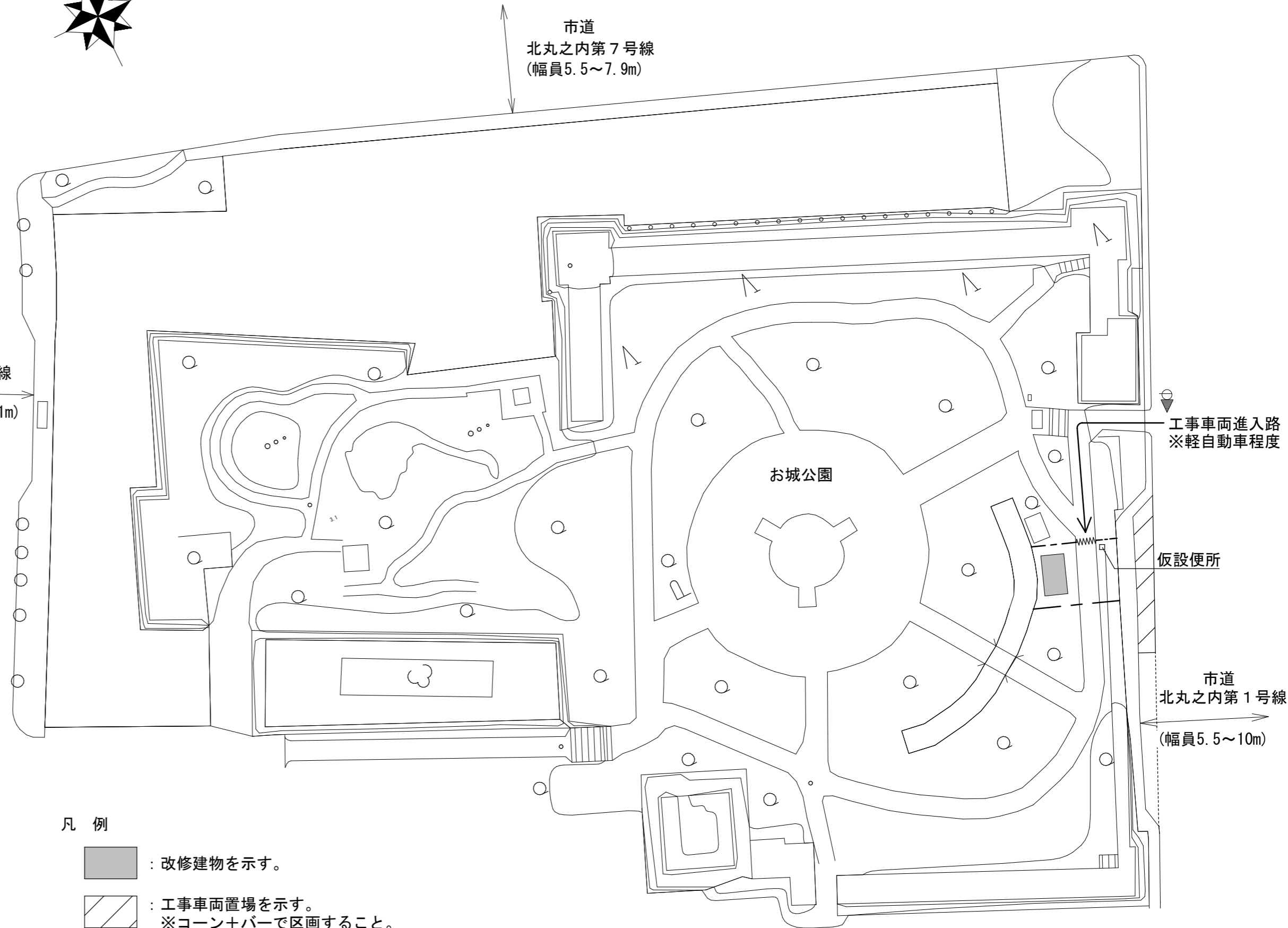
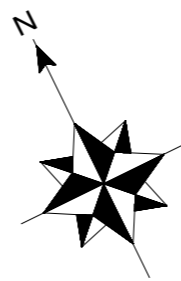
合資会社 重企建築事務所
Jyuki Architectural Design Office
一級建築士事務所 三重県知事登録第1-300号
一級建築士国土交通大臣登録第167163号 山田 裕治






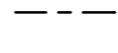

附近見取図

工事場所

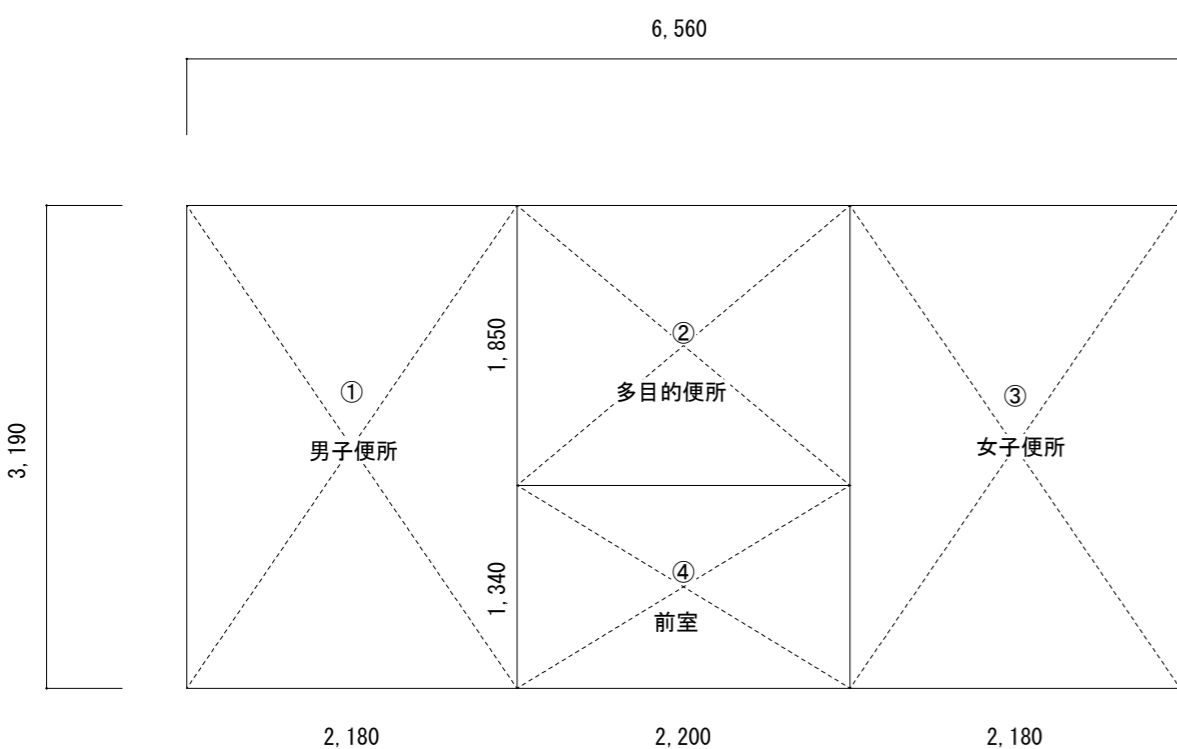
市道
御山装橋岩田線
(幅員13.5~29.1m)



凡例

-  : 改修建物を示す。
-  : 工事車両置場を示す。
※コーン+パーで区画すること。
-  : キヤスタゲート W3000×H1800
-  : ガードフェンス H1800
-  : 交通誘導員 (敷地内工事車両搬出入時)

配置図兼仮設計画図 1/800



面積表

①	2.180×3.190	6.95㎡
②	2.200×1.850	4.07㎡
③	2.180×3.190	6.95㎡
④	2.200×1.340	2.95㎡
延床面積	6.560×3.190	20.92㎡
建築面積	6.560×3.190	20.92㎡

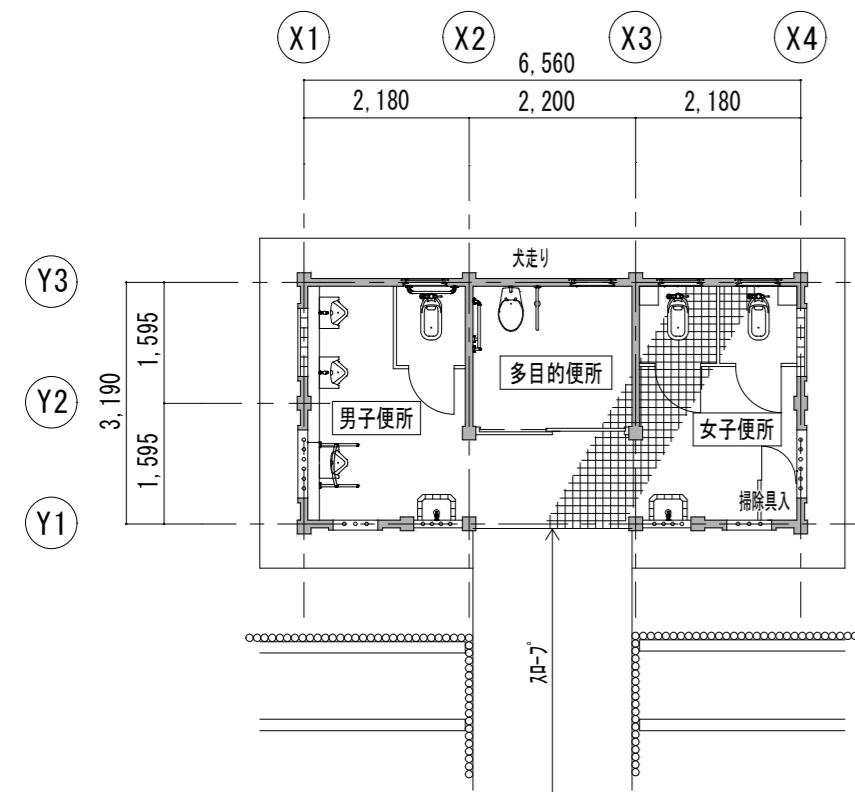
工事名/Title	お城公園便所改修工事
-----------	------------

附近見取図、面積表・求積図 配置図兼仮設計画図	Check	No.
縮尺/Scale 原図:A2 日付/Date		A-05
1/800		

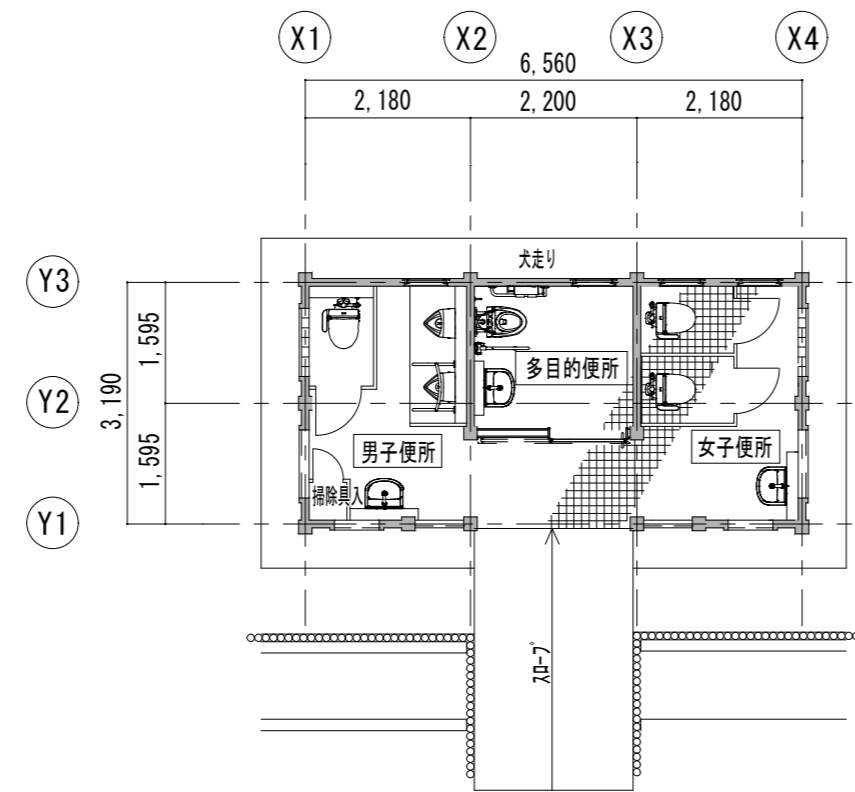
合資会社 重企建築事務所
 Jyuki Architectural Design Office
 一級建築士事務所 三重県知事登録第1-300号
 一級建築士国土交通省大臣登録第167163号 山田 裕治

外部仕上表											
屋根	改修前	屋根：アスファルトシングル葺き（既設のまま） 棟包：ガルバリウム鋼板（既設のまま）	柱・梁型	改修前	擬木調塗装（既設のまま）	窓廻りボ-ダー	改修前	擬木調塗装（既設のまま）			
	改修後	屋根：水洗いの上、水系シリコン樹脂塗料塗り 棟包：水洗い、下地調整の上、SOP塗替え		改修後	水洗い、下地調整の上、DP塗替え		改修後	水洗い、下地調整の上、DP塗替え			
破風	改修前	木製 30×180 SOP塗り（既設のまま）	外壁	改修前	漆喰塗り（既設のまま）	建具	改修前	7L製建具（既設のまま）			
	改修後	水洗い、下地調整の上、SOP塗替え（表裏共）		改修後	水洗い、下地調整の上、水性7Lシリコン塗装		改修後	7L製建具：水洗い、建具調整			
軒天	改修前	化粧合板（既設のまま） 化粧垂木：木製 45×90（既設のまま）	腰壁	改修前	擬木調塗装（既設のまま）	犬走り	改修前	コンクリート金鍍押え（既設のまま）			
	改修後	化粧垂木：下地調整の上、SOP塗替え		改修後	水洗い、下地調整の上、DP塗替え		改修後	—			

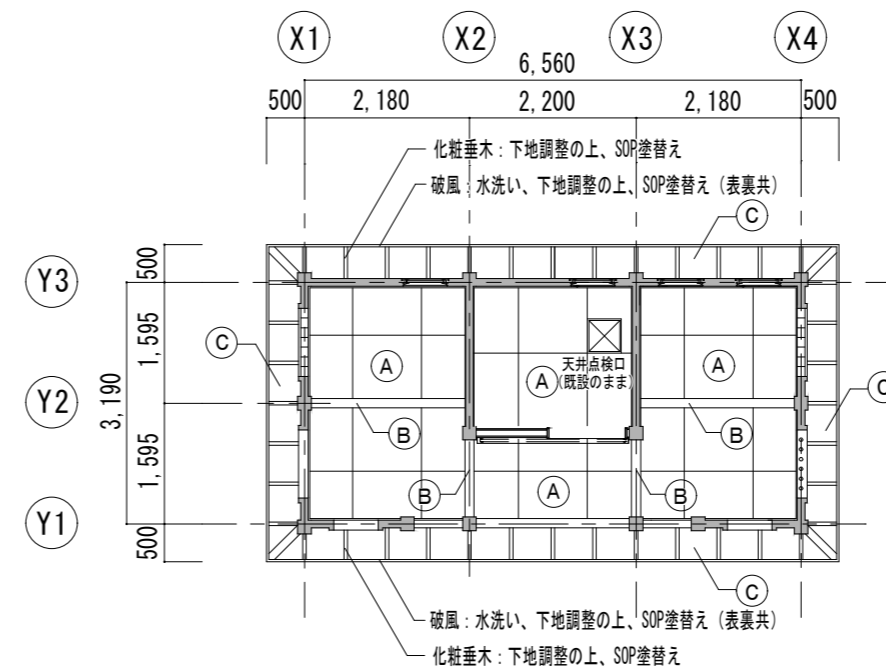
内部仕上表											
室名		床		腰壁		壁		天井		廻縁	備考
		下地	仕上	下地	仕上	下地	仕上	下地	仕上		
男子便所	改修前	土間コンクリート 7120（撤去） モルタル下地共	磁器質100角床タイル貼（撤去）	モルタル下地（撤去）	陶器質100角タイル貼 H=1200（撤去）	モルタル下地（既設のまま）	複層塗材CE（既設のまま）	木製天井下地（既設のまま）	ケイカル板 t=5 EP（既設のまま）	塩ビ	トイレ-ス、ライオン®壁、コンクリート手洗い流し（撤去）
	改修後	土間コンクリート 7120（新設） D10@200 びん・ココ共	磁器質100角床タイル貼（新設）	モルタル下地（新設）	陶器質100角タイル貼 H=1200（新設）	—	水洗い、下地調整（C-1）の上、 複層塗材CE（ロー塗） 新設	—	—	—	—
女子便所	改修前	土間コンクリート 7120（撤去） モルタル下地共	磁器質100角床タイル貼（撤去）	モルタル下地（撤去）	陶器質100角タイル貼 H=1200（撤去）	モルタル下地（既設のまま）	複層塗材CE（既設のまま）	木製天井下地（既設のまま）	ケイカル板 t=5 EP（既設のまま）	塩ビ	トイレ-ス、木製棚、コンクリート手洗い流し（撤去）
	改修後	土間コンクリート 7120（新設） D10@200 びん・ココ共	磁器質100角床タイル貼（新設）	モルタル下地（新設）	陶器質100角タイル貼 H=1200（新設）	—	水洗い、下地調整（C-1）の上、 複層塗材CE（ロー塗） 新設	—	—	—	—
多目的便所	改修前	土間コンクリート 7120（撤去） モルタル下地共	磁器質100角床タイル貼（撤去）	モルタル下地（撤去）	陶器質100角タイル貼 H=1200（撤去）	モルタル下地（既設のまま）	複層塗材CE（既設のまま）	木製天井下地（既設のまま）	ケイカル板 t=5 EP（既設のまま）	塩ビ	軽量鋼製建具（撤去）
	改修後	土間コンクリート 7120（新設） D10@200 びん・ココ共	磁器質100角床タイル貼（新設）	モルタル下地（新設）	陶器質100角タイル貼 H=1200（新設）	—	水洗い、下地調整（C-1）の上、 複層塗材CE（ロー塗） 新設 一部 C-75×45×20×2.3下地の上、 強化せっこうボード 917V耐水BK t=15 7Lシリコン® t=6.0 複層塗材CE（ロー塗）	—	—	—	—



平面図(改修前) S=1/100

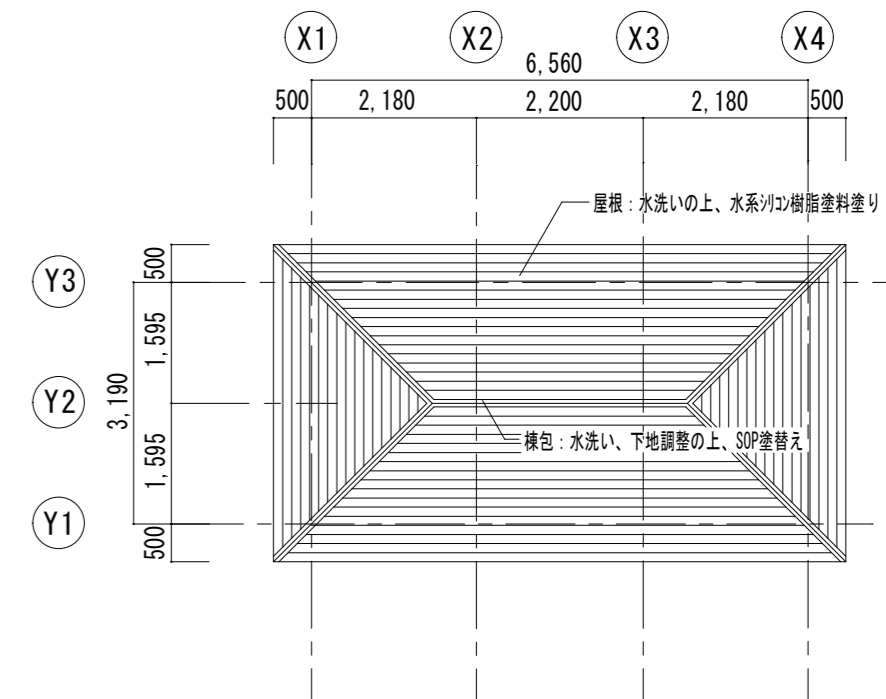


平面図(改修後) S=1/100

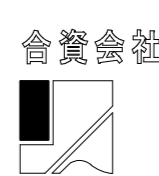


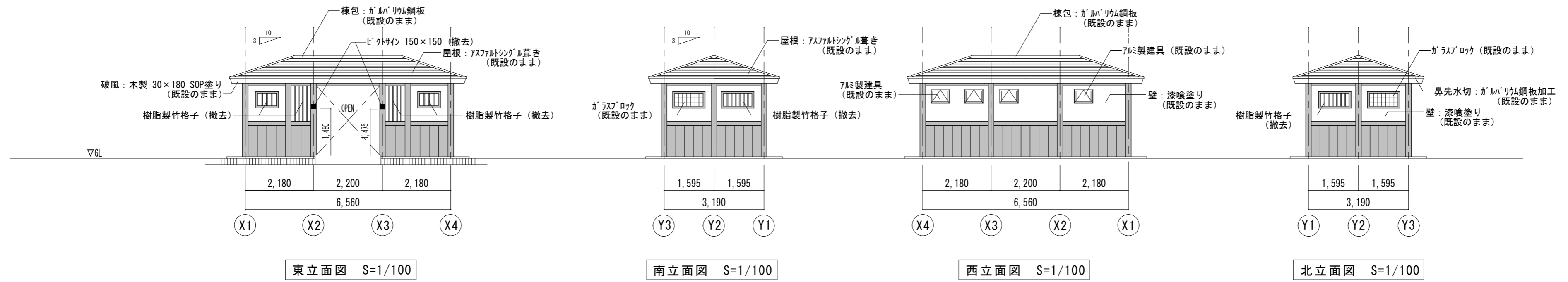
- A 天井：ケイカル板 t=5 EP（既設のまま）
- B 梁型：水洗い、下地調整の上、複層塗材CE吹付
- C 化粧合板（既設のまま）

天井伏図 S=1/100

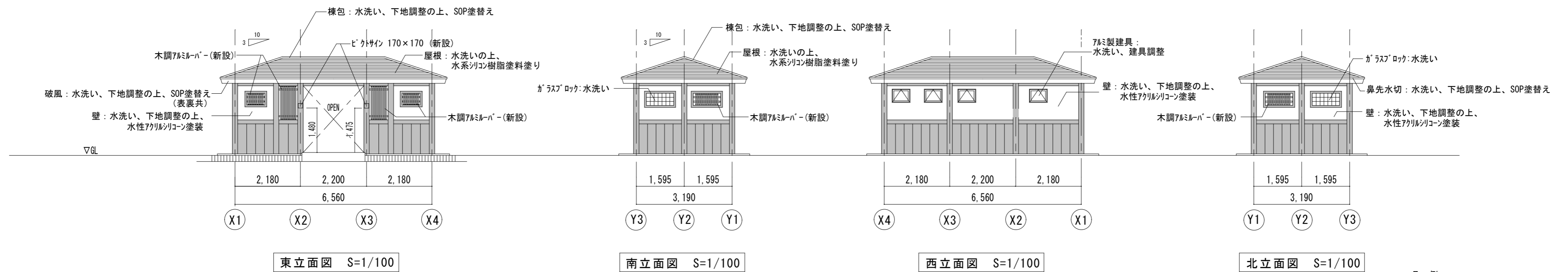


屋根伏図 S=1/100

図面種別/Drawing 仕上表、平面図（改修前・後） 屋根伏図、天井伏図	Check	No. A-06	 合資会社 重企建築事務所 Jyuki Architectural Design Office 一級建築士事務所 三重県知事登録第1-300号 一級建築士国土交通省大臣登録第167163号 山田 裕治

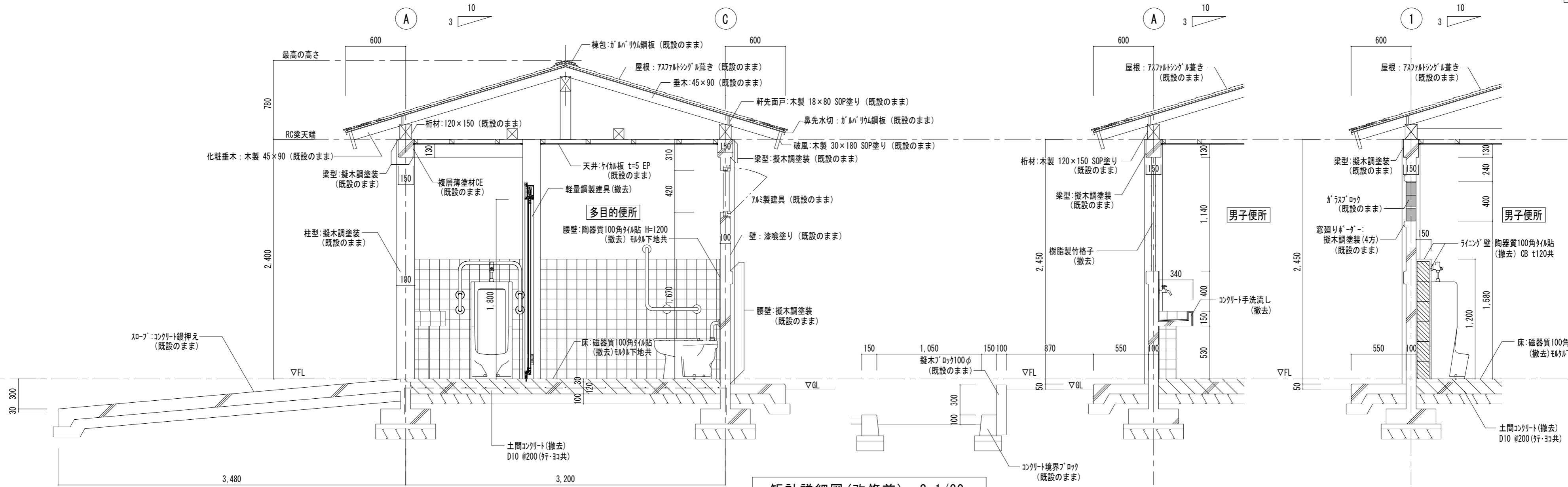


凡例
 擬木塗装 (既設のまま)



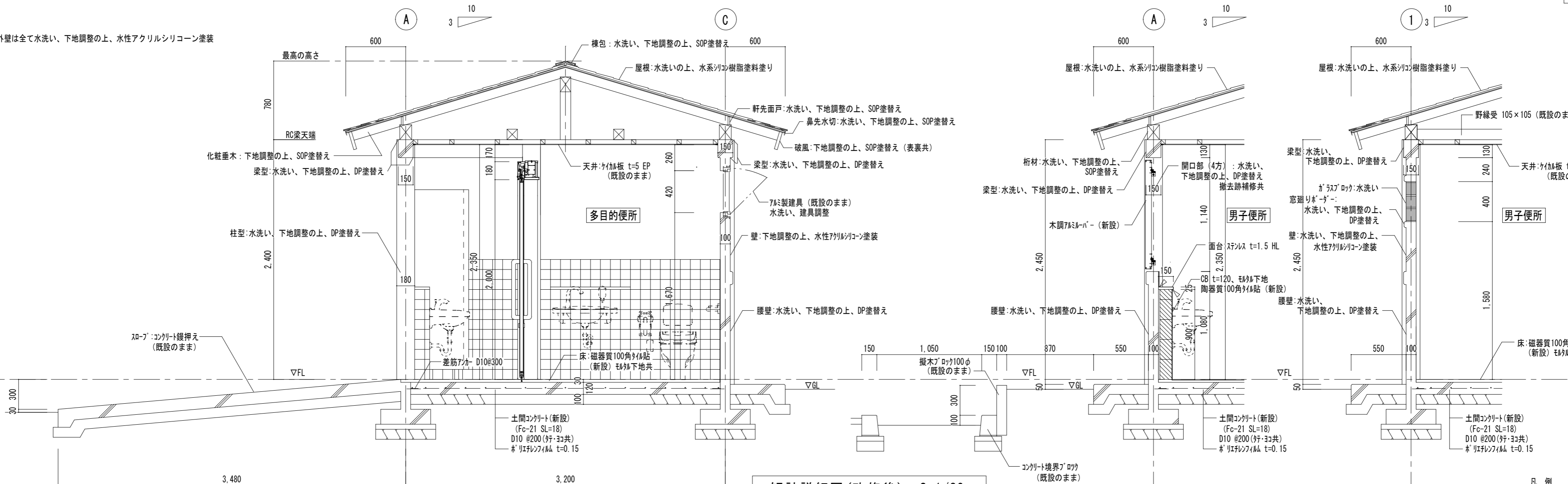
凡例
 下地調整の上、DP塗替え
 ※外壁全面水洗いとする。
 ※樹脂製竹格子撤去後は、
 エル補修の上、DP塗装とする。

	<p>工事名 / Title</p> <p style="text-align: center;">お城公園便所改修工事</p>	<p>図面種別 / Drawing</p> <p style="text-align: center;">立面図 (改修前・後)</p> <p>縮尺 / Scale 原図: A2 日付 / Date 1 / 100 A3縮尺率71%</p>	<p>Check</p>	<p>No.</p> <p style="text-align: center;">A-07</p>	<p style="text-align: center;">合資会社 重企建築事務所</p> <p style="text-align: center;">Jyuki Architectural Design Office</p> <p>一級建築士事務所 三重県知事登録第1-300号 一級建築士国土交通省大臣登録第167163号 山田 裕治</p>
--	--	---	--------------	--	---




矩計詳細図(改修前) S=1/30

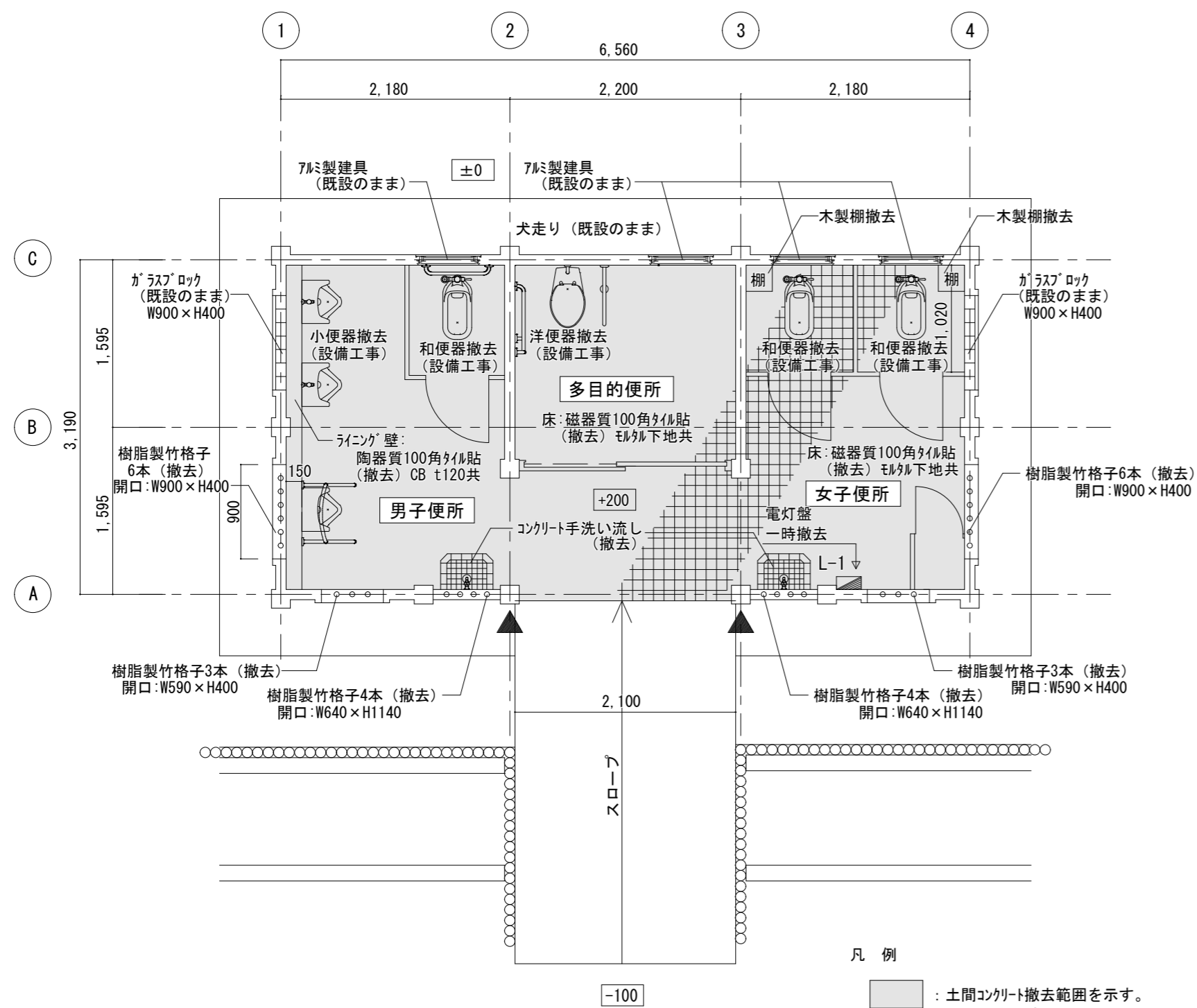
※外壁は全て水洗い、下地調整の上、水性アクリルシリコン塗装



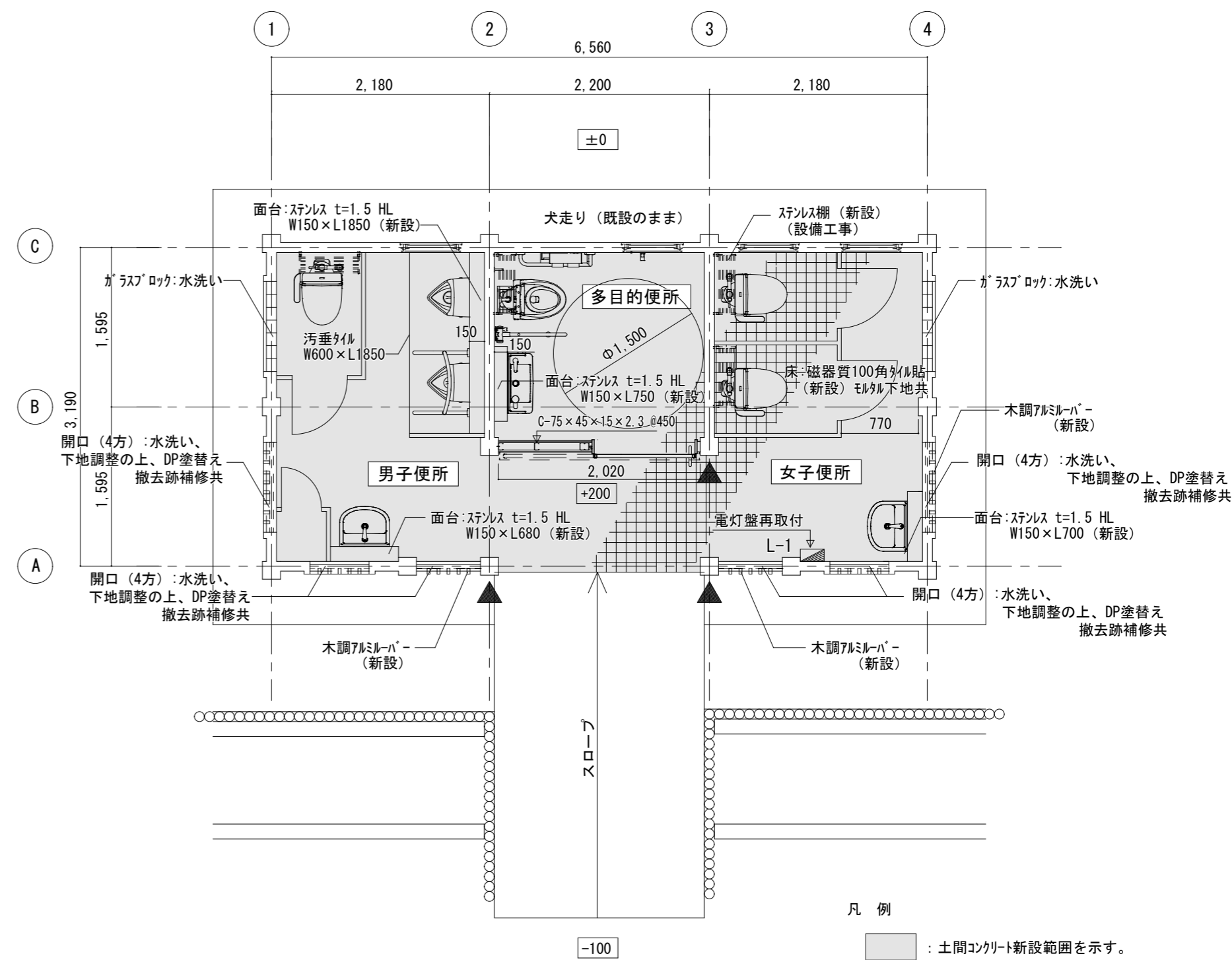
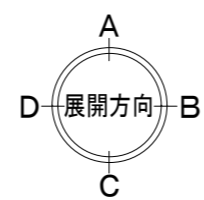
矩計詳細図(改修後) S=1/30

凡例
△: シーリング (MS-2)

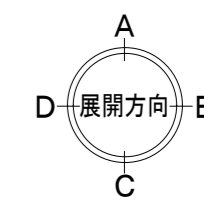
	工事名 / Title	図面種別 / Drawing	Check	No.	 合資会社 重企建築事務所 Jyuki Architectural Design Office 一級建築士事務所 三重県知事登録第1-300号 一級建築士国土交通省大臣登録第167163号 山田 裕治
	お城公園便所改修工事	矩計詳細図(改修前・後)		A-08	
		縮尺 / Scale 原図: A2 日付 / Date 1/30 A3縮尺率71%			



平面詳細図 (改修前) S=1/50



平面詳細図 (改修後) S=1/50



凡例

■ : 土間コンクリート撤去範囲を示す。
(周囲カッター入れ共)

▲ : ビックサイン撤去を示す。

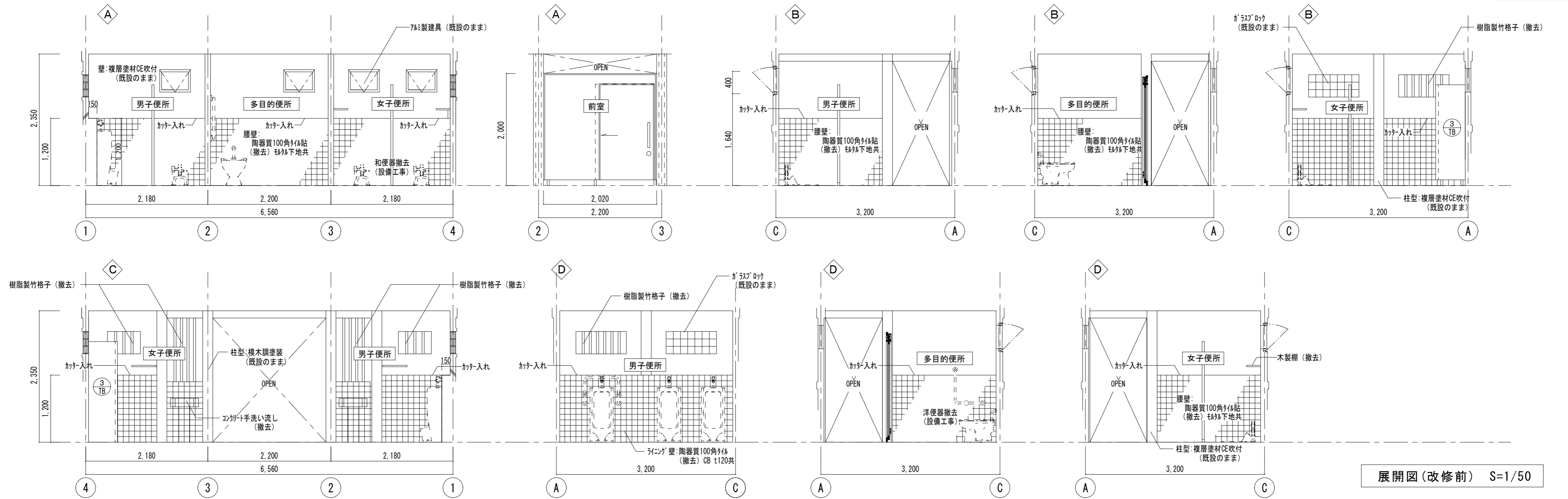
凡例

■ : 土間コンクリート新設範囲を示す。
D10@200 (7行30共)
差筋7mmφ-D10@300

▲ : ビックサイン (7mm t3 170 x 170) を示す。

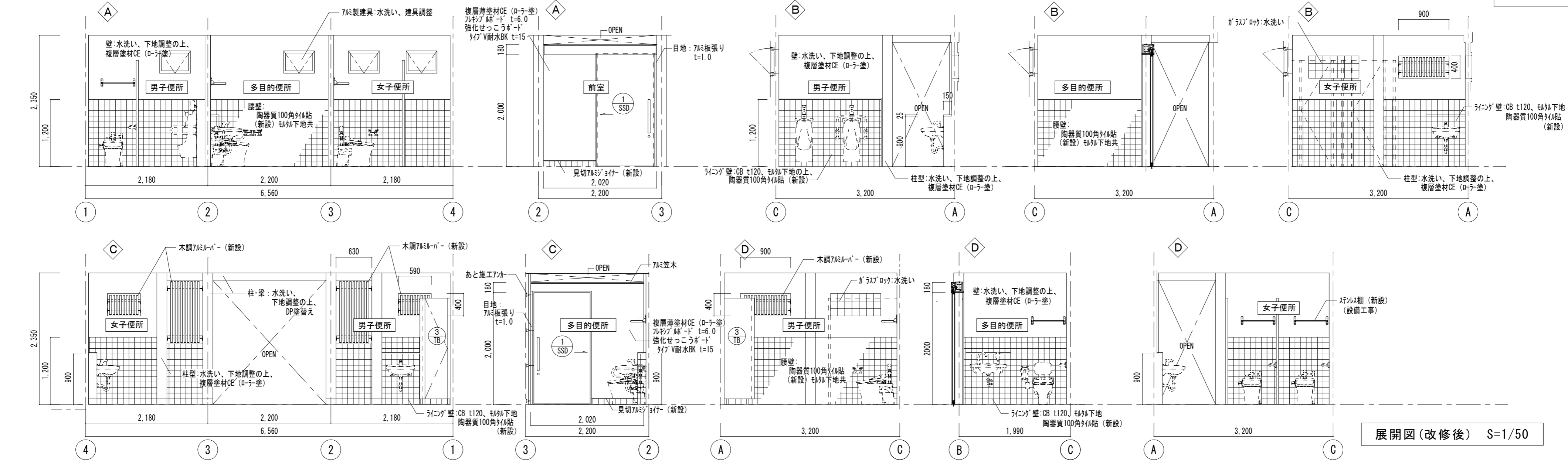
	工事名 / Title	図面種別 / Drawing	Check	No.	合資会社 重企建築事務所 Jyuki Architectural Design Office 一級建築士事務所 三重県知事登録第1-300号 一級建築士国土交通省大臣登録第167163号 山田 裕治
	お城公園便所改修工事	平面詳細図 (改修前・後)			
				A-09	

改修前



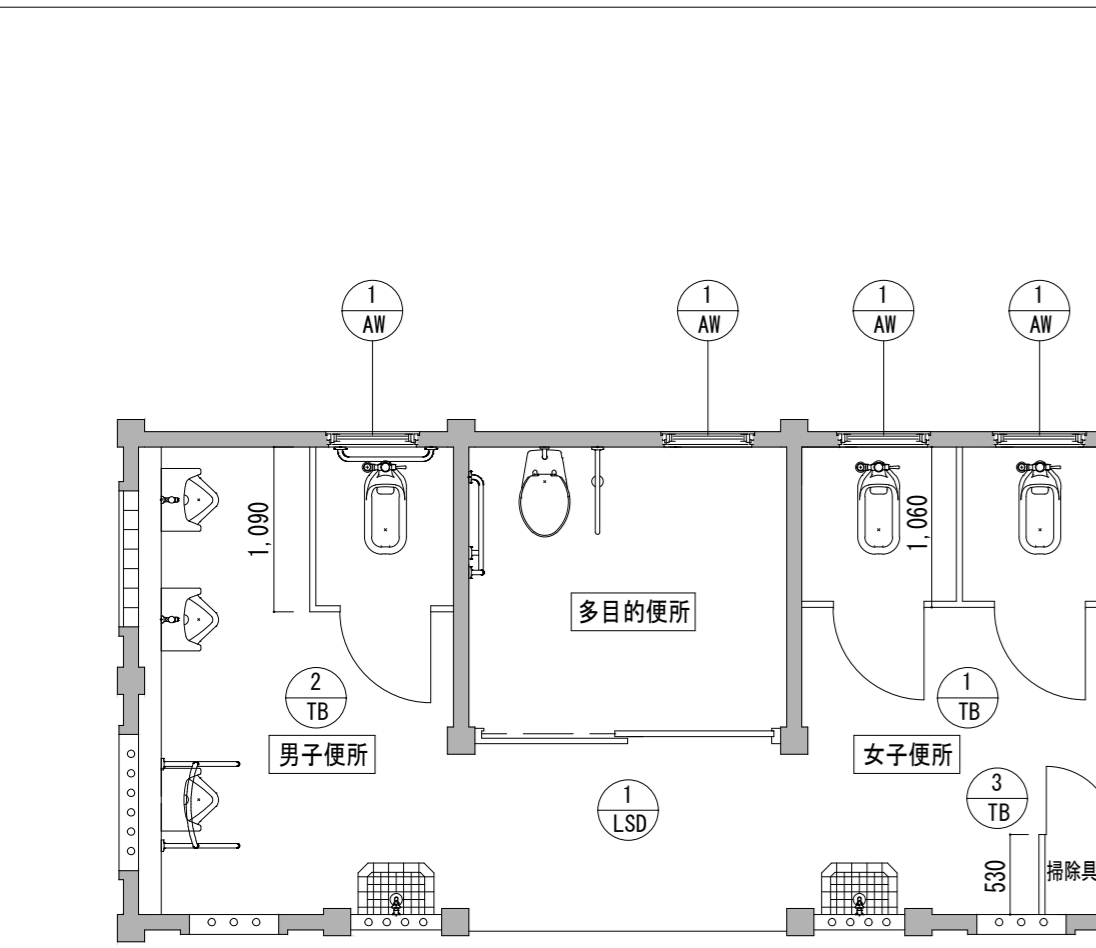
展開図(改修前) S=1/50

改修後

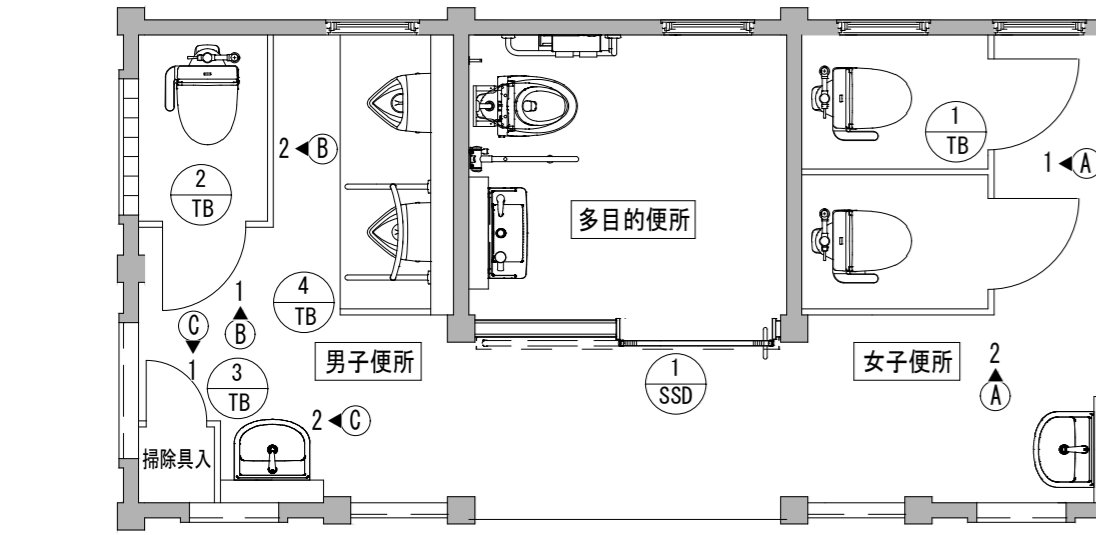


展開図(改修後) S=1/50

	<p>工事名 / Title</p> <p>お城公園便所改修工事</p>	<p>図面種別 / Drawing</p> <p>展開図 (改修前・後)</p> <p>縮尺 / Scale 原図: A2 日付 / Date</p> <p>1 / 50 A3縮尺率71%</p>	<p>Check</p>	<p>No.</p> <p>A-10</p>	<p>合資会社 重企建築事務所</p> <p>Jyuki Architectural Design Office</p> <p>一級建築士事務所 三重県知事登録第1-300号</p> <p>一級建築士国土交通大臣登録第167163号 山田 裕治</p>
--	--------------------------------------	--	--------------	------------------------	--



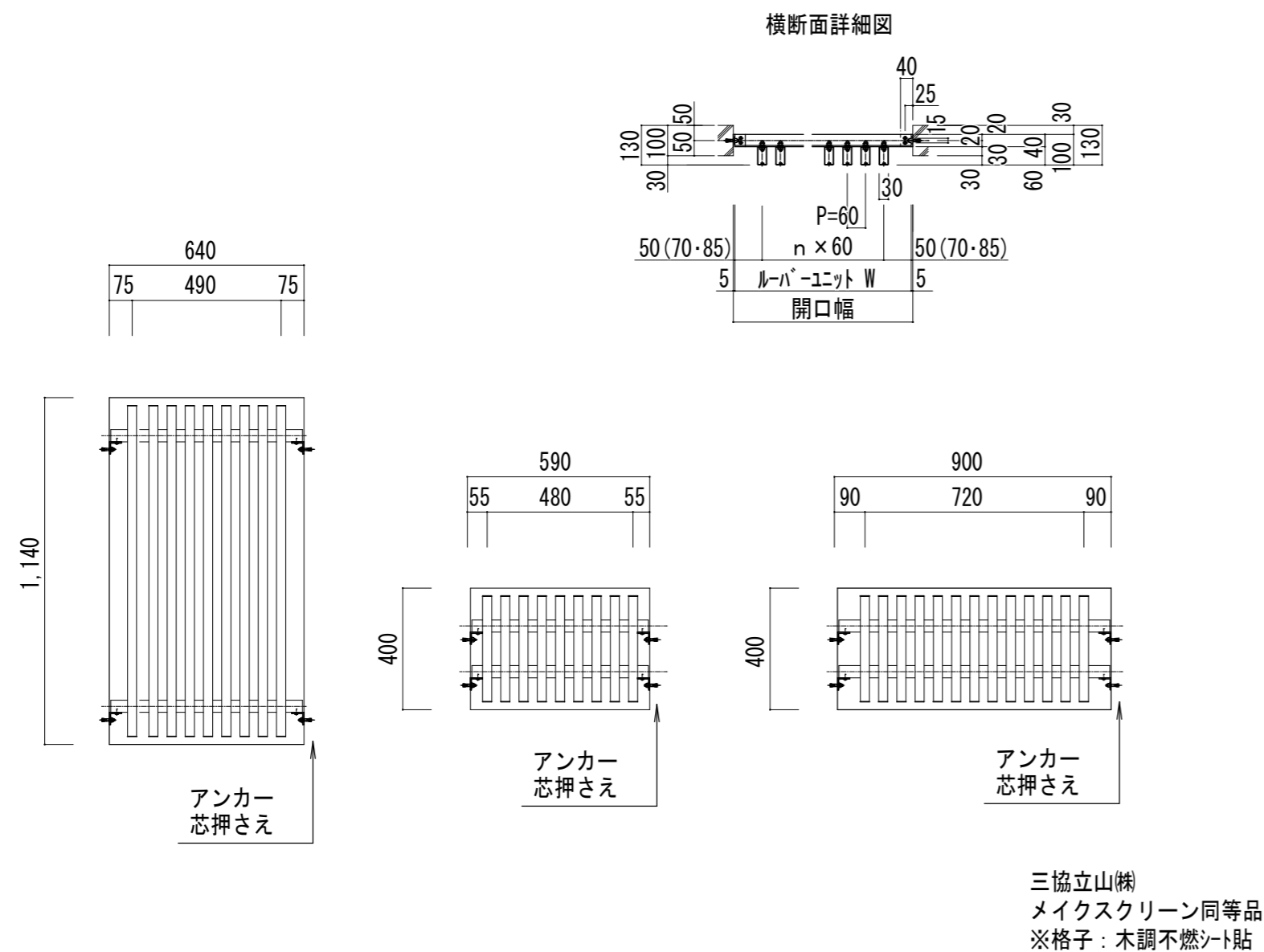
建具指示図 (改修前)



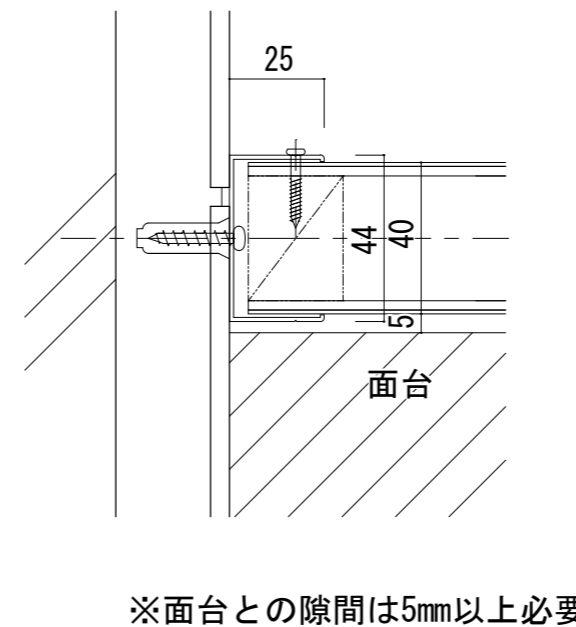
建具指示図 (改修後)

改修前		(改修前)								
室名・符号・箇所	1 AW 男子便所・女子便所・多目的便所	4	1 LSD 多目的便所	1	1 TB 女子便所	1	2 TB 男子便所	1	3 TB 掃除具入	1
姿図										
名称	外倒し7&製サツ		鋼製片引き戸7		トリアース		7&製トリアース		トリアース	
見込 仕上	70		100		40		40		40	
硝子	型ガラス t=4									
金物	加圧付、付属金物一式		大型内納り錠、スリル握棒、付属金物一式		7&トリヒンジ、7&付握玉錠、頭ナギ、脚金物、付属金物一式		7&トリヒンジ、7&付握玉錠、頭ナギ、脚金物、付属金物一式			
備考	既存のまま、サツ調整のうえクリーニング		撤去		撤去		撤去		撤去	
改修後		(改修後)								
室名・符号・箇所	1 SSD 多目的便所	1	1 TB 女子便所	1	2 TB 男子便所	1				
姿図										
名称	スリル製片引き戸7		トリアース		トリアース					
見込 仕上	40、HL		40、高圧シキ化化粧板		40、高圧シキ化化粧板					
硝子										
金物	7&付表示付、非常開放装置付、駆動装置、戸車、スリルヘッド、スリル管、その他金属物一式		グレヒヒンジ、スライドナッチ (表示付)、頭つなぎ、7&笠木 (7&付き)、帽子掛け、戸当り、脚金物、付属金物一式		グレヒヒンジ、スライドナッチ (表示付)、頭つなぎ、7&笠木 (7&付き)、帽子掛け、戸当り、脚金物、付属金物一式					
備考	新設		新設		新設					
室名・符号・箇所	3 TB 掃除具入	1			4 TB 隔て板	1				
姿図										
名称	トリアース				隔て板					
見込 仕上	40、高圧シキ化化粧板				40、高圧シキ化化粧板					
硝子										
金物					7&枠、付属金物一式					
備考	新設				新設					

開口部 新設アルミルーバー S : 1/20



面台取合い S : 1/2



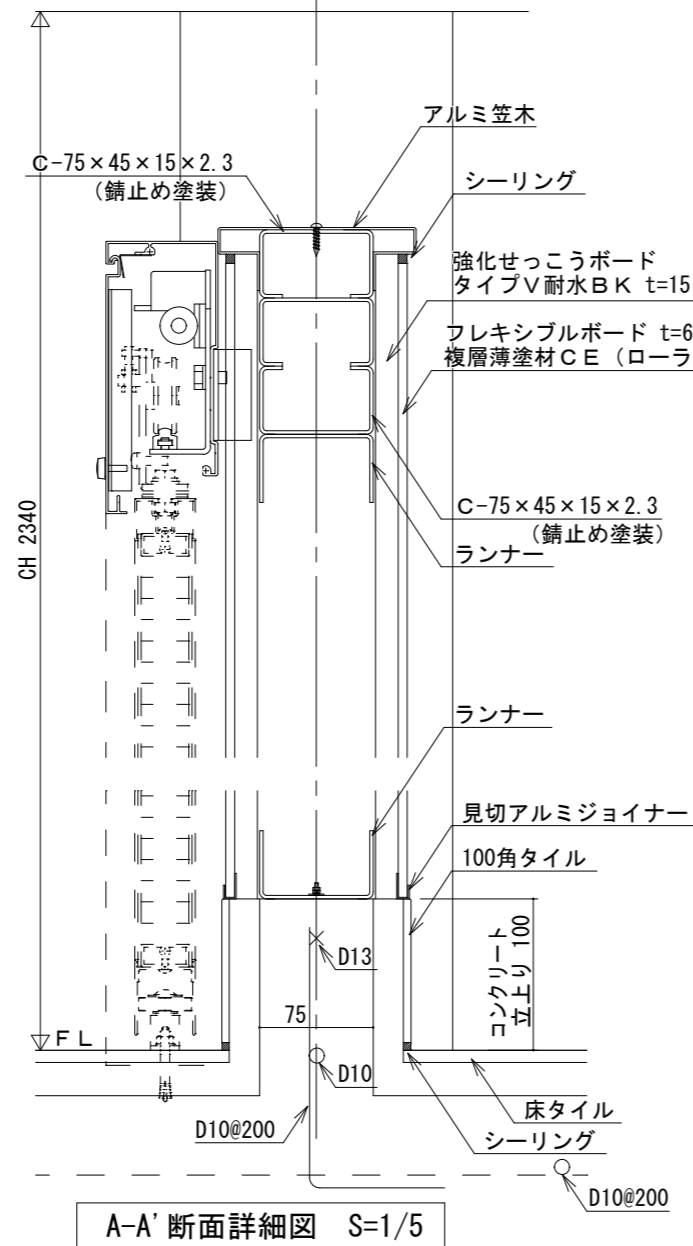
ピクトサイン



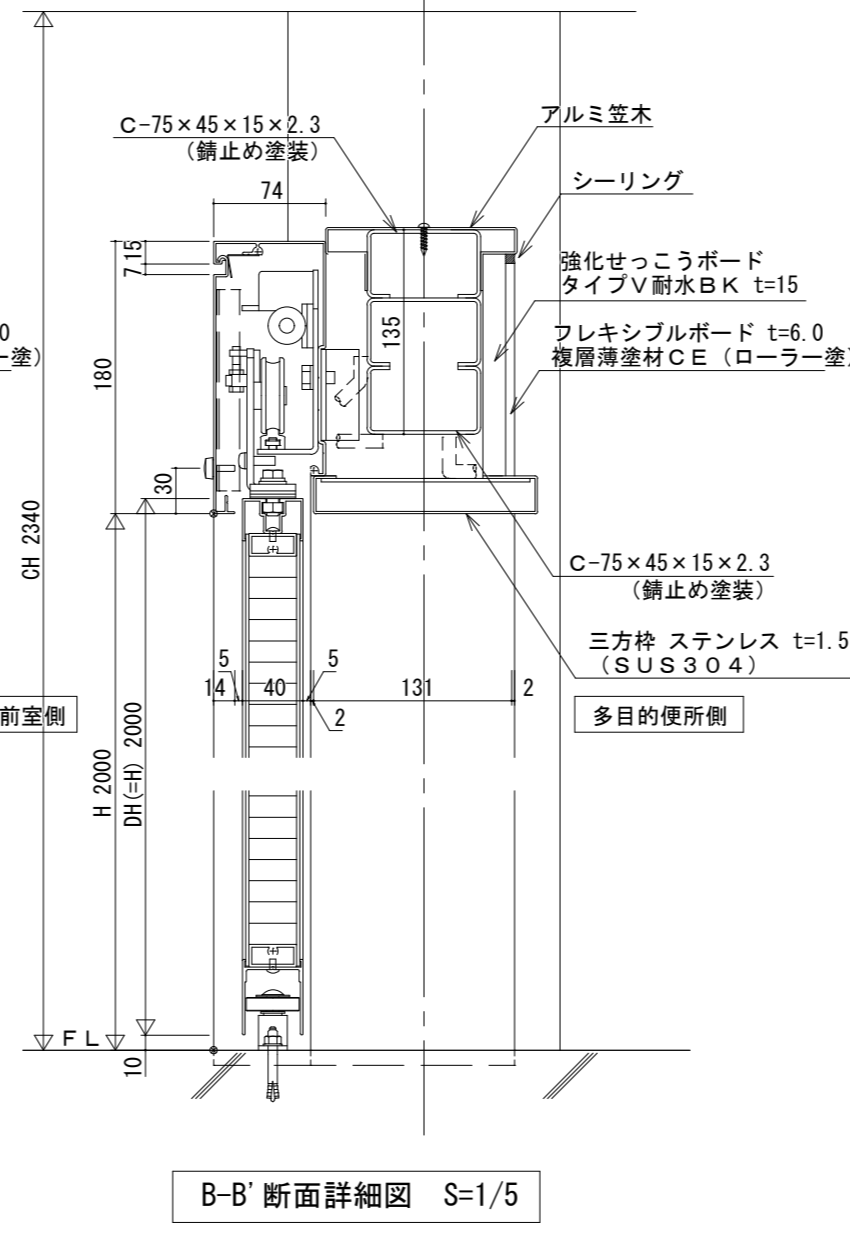
7mm複合板 シート貼
 寸法: 170×170×3 (W×H×D)
 ※単位: mm

多目的便所 片引き戸 S : 1/5

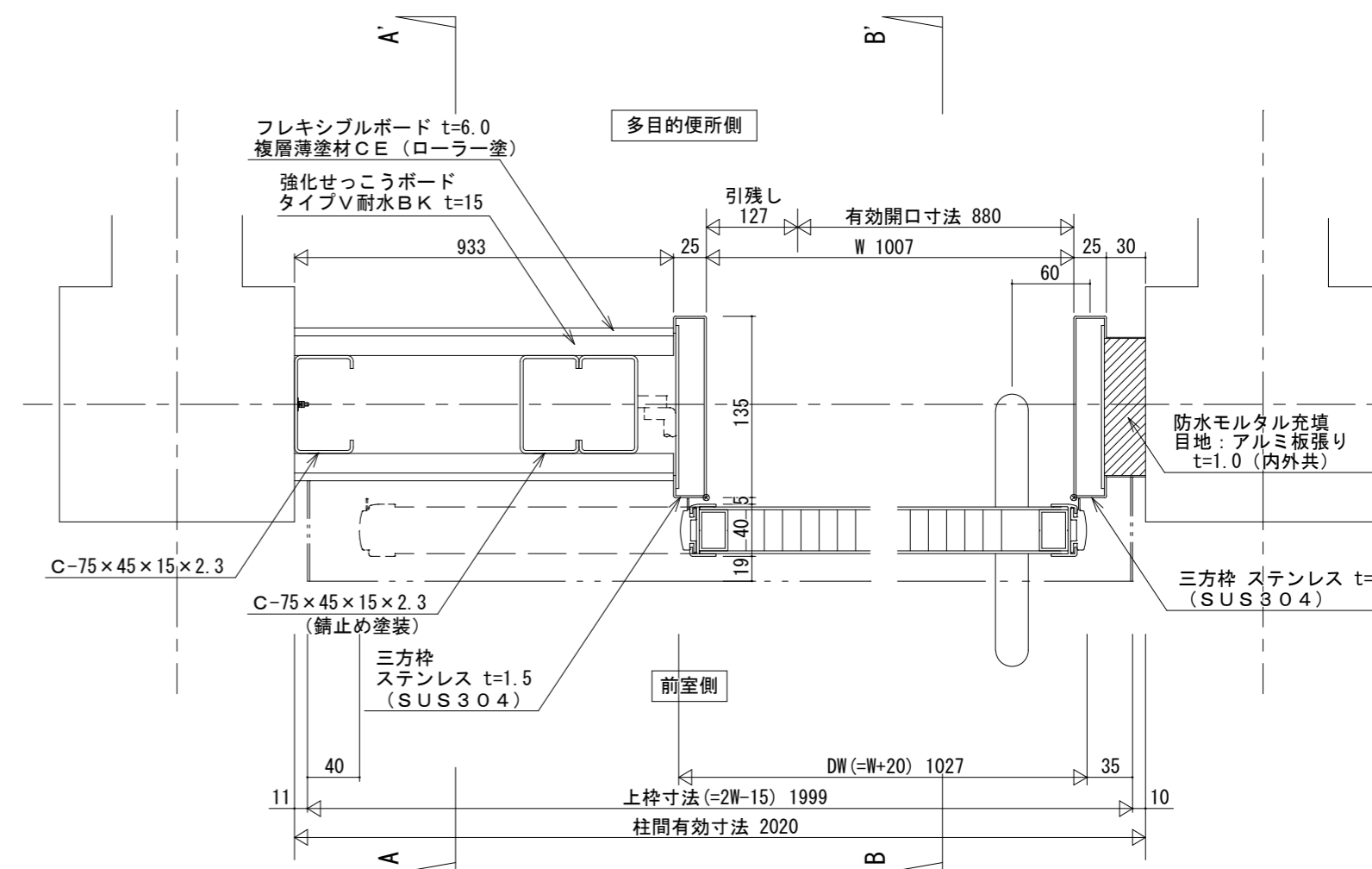
標準仕様	
仕上げ材料	
枠	SUS304 HL仕上げ
フラッシュ扉	
部品・補助部材	
取手	ステンレス SUS304 L=600
補助材・アンカー・カ骨	JIS規格の構成材でJIS H 8610に規定する2種3級のめっき処理を施したものおよび融解垂鉛-アルミニウム-マグネシウム合板めっきを施したもの
ねじ	JIS G 4315 (冷間圧延用ステンレス鋼線) に規定するSUS305同等品
気密材	塩化ビニル
その他	表示錠、自動閉鎖装置、金物一式



A-A' 断面詳細図 S=1/5



B-B' 断面詳細図 S=1/5



断面詳細図 S=1/5

※建具枠取合い: シーリング (MS-2) 処理すること。

工事名/Title

お城公園便所改修工事

部分詳細図

縮尺/Scale 原図:A2 日付/Date
 A3縮尺率71%
 1/20・1/10・1/5・1/2

Check

No.

A-12

合資会社 重企建築事務所

Jyuki Architectural Design Office
 一級建築士事務所 三重県知事登録第1-300号
 一級建築士国土交通省大臣登録第167163号 山田 裕治

※ 横走り管の吊り間隔

Table with 2 columns: 管種 (Pipe Type) and 間隔 (Interval). Rows include 銅管 (Copper), ビール管 (Beer), 耐火二層管 (Fire-resistant double layer), 鉛管 (Lead), and 鍍鉄管 (Galvanized).

※ 横走り管形鋼振れ止め支持間隔

Table with 4 columns: 支持間隔 (Support Interval), 銅管 (Copper), 鍍鉄管 (Galvanized), ビール管 (Beer), 耐火二層管 (Fire-resistant double layer), 銅管 (Copper).

※ 冷媒用銅管の横走り管の支持間隔

基準外径 9.52mm 以下 吊り間隔 1.5m以下 ※ 液管・ガス管共吊りの場合は液管の外径を基準外径 12.70mm 以上 吊り間隔 2.0m以下 形鋼振れ止め支持間隔は、銅管に準ずる。

(2) ダクト工事

- 矩形ダクト: 垂鉛鉄板 JIS G 3302 (SGCC, SGCCA) 鍍金付着Z18以上, ステンレス鋼板 JIS G4305, アングルフランジ工法, 共板フランジ工法, スライドオンフランジ工法. 形鋼補強: 山形鋼 JIS G 3101, SUS鋼材 JIS G 4317. 丸ダクト: スパイラルダクト, 下水道用リサイクル三層硬質塩化ビニル管 (多湿箇所) AS-62 (RS-VU).

(3) 保温塗装工事

- 1) 材料: 部分的に材料を変更する場合は、図面に明記すること。 ■ グラスウール保温材 (屋内一般等), ■ 給水管, 排水管, 給湯管, 蒸気管, 給湯管, 温水管, 蒸気管, 冷媒管. □ ロックウール保温材 (防火区画貫通部等), □ 給水管, 排水管, 給湯管, 蒸気管. □ ポリスチレンフォーム保温材 (屋内一般等), □ 給水管, 排水管, プライン管. ■ 合成樹脂調合ベイント塗り塗料 (露出), □ 給水管, ガス管, ダクト. □ さび止めベイント塗り塗料 (露出), □ 蒸気管 (往), □ ダクト.

2) 保温厚

Table with 6 columns: 保温厚 (mm), 給水・排水・ドレン・給湯, 膨張・温水・消火管, 蒸気管, 冷水・冷温水・冷媒管.

・ポリスチレンフォーム

Table with 7 columns: 保温厚 (mm), 給水・消火・排水管, 冷水・冷温水管, 冷水管 (冷水温度2~4℃), プライン管.

・機器ダクト保温厚

Table with 2 columns: 保温厚 (25mm, 50mm, 75mm), 対象箇所 (ダクトの種類).

3) 種別

Table with 4 columns: 種別 (種別), 1, 2, 3, 4. Rows include 屋内露出, 機械室・書庫・倉庫, 天井内・P・S内, 暗室内 (ビット内), 屋外露出.

空調設備配管の保温仕様 (R、G保温材の仕様のみ)

Table with 5 columns: 種別 (種別), 1, 2, 3, 4, 5. Rows include 屋内露出, 機械室・書庫・倉庫, 天井内・P・S内 (温水・蒸気管以外), 暗室内 (ビット内), 屋外露出.

機器保温仕様

Table with 5 columns: 1, 2, 3, 4, 5. Rows include 冷水・冷温水タンク, 鋼板製タンク, 冷水・冷温水ヘッダ, 温水・膨張・還水貯溜タンク, 温水・蒸気ヘッダ, 熱交換器.

ダクト・チャンパー・煙道 保温仕様

Table with 5 columns: 1, 2, 3, 4, 5. Rows include 長方形ダクト, スパイラルダクト, サブライチャンパー, 消音チャンパー・エルボ, 排煙ダクト長方形, 排煙ダクト円形, 煙道.

- ※ 1) 排煙ダクトは、ロックウール保温板、保温帯、1号を使用。 ※ 2) 煙道ブランケットは、JIS G 3554 (亀甲金網) による垂鉛鍍金を施した網目呼称16線径0.55の金網又はRWA S021による防錆処理を施した平ラズ0号で外面補強したものを使用。 ※ 3) 銅亀甲金網は、JIS H 3260 網目呼称10、線径0.5を使用。

配管用炭素鋼鋼管の塗装仕様

Table with 4 columns: 機材 (機材), 状態 (状態), 塗料の種別 (塗料の種別), 塗り回数 (塗り回数). Rows include 白管, 黒管.

- ※ 1) わじ切りした部分の鉄面は、さび止めベイント2回塗りを行う。

4) 施工

- ダクト保温施工範囲: 1. SA (保温あり, 保温なし, 図面による, その他), 2. EA (保温あり, 保温なし, 図面による, その他), 3. RA (保温あり, 保温なし, 図面による, その他), 4. OA (保温あり, 保温なし, 図面による, その他). チャンパー内貼施工: □ 内貼あり (mm), □ 内貼なし, □ 図面による, □ その他.

(4) スリーブ工事

- 1. 管スリーブの径は、原則として、管の外径 (保温されるものは、保温厚さを含む) より40mm程度大 (=2サイズUP) なるものとする。箱抜きスリーブは、木枠又は鋼板 (実管ダクト) とする。2. 地中部分のスリーブは、塩化ビニル管 (VU) とし、水密を要する部分のスリーブは、つば付き鋼管とする。3. その他のスリーブは、特記なき限り、紙ボイドとする。紙ボイド使用の際は、配管前に必ず撤去のこと。

共通事項

- 1) 陸上ポンプ、送排風機 (エアハン含む) の電動機は、すべて全閉防まつ形とする。2) 配管途中、裏所にはフランジ接続箇所を設置し、取り外しを容易にすること。3) 系統が分かるように、必要箇所 (機械室、P・S内等) に文字書き・矢印記入・バルブ札取付を行うこと。手書きもしくはカッティングシートとする。4) 機器・配管・支持金物には、絶縁処理を行うこと。5) 配管に空気が滞留する恐れのある箇所には、エア抜き弁を設置し、最寄りのドレン管に接続すること。6) 屋外機器設置基礎のアンカーボルトは、構造体鉄筋より取り出す、もしくはあと施工アンカー工法の類とする。使用アンカーについては、機器仕様書、耐震クラス等を確認すること。また、重量機器にあつては施工アンカー工法を採用する場合、ケミカルアンカーを使用し施工すること。7) 機器、配管の耐震措置及び機器、ダクトの防振・消音については、標準仕様書、標準図、施工管理指針及び建築設備耐震設計・施工指針に基づき十分考慮すること。8) 雨がかり部に取り付けるガラリのチャンパーには、水抜きを設けること。9) 屋外埋設管 (給水、消火、ガス) には、埋設シートを敷設し、曲がり・分岐部には、地中埋設標を施工すること。10) 冷水及び冷温水管の支持材には、合成樹脂製支持受けを使用すること。11) 水柱は、節水機構付きのものを使用すること。12) 冷媒管等防火区画貫通部は、建築基準法・消防法に適合する工法にて防火処理を行うこと。13) 地中埋設配管については、下記の沈下対策を講ずること。・管は継ぎ手の組み合わせにより可とう性をもたせる。・接続箇所は必要に応じコンクリートで保護する。・土間配管は、土間筋に吊り下げるなど埋設配管を保持すること。・呼び径100A以下はM10、125A~250AはM12、250A以上はM16のステンレス棒鋼を使用する。14) 屋外露出及び多湿箇所 (トレンチビット等) の配管架台は、SUS又はSS溶融亜鉛メッキ仕上げとすること。15) 屋外設置のマンホール類には用途名を入れること。16) 合成樹脂製カバーの仕上げについては、保温見切り箇所には菊座の取り付けを行うこと。17) 送風機用ベルトカバーには点検口を設けること。18) 建設発生土は埋外自由処分とすること。

工事名 / Title

お城公園便所改修工事

機械設備工事特記仕様書 (2)

縮尺 / Scale 原図 : A2 日付 / Date

Check

No.

M - 2

凡例			
図示記号	名称	図示記号	名称
—— —	給水管	⊙	排水金物
—— —	排水管	⊙	床上掃除口
— — — —	通気管	⊗	弁類
⊗	水栓金具		

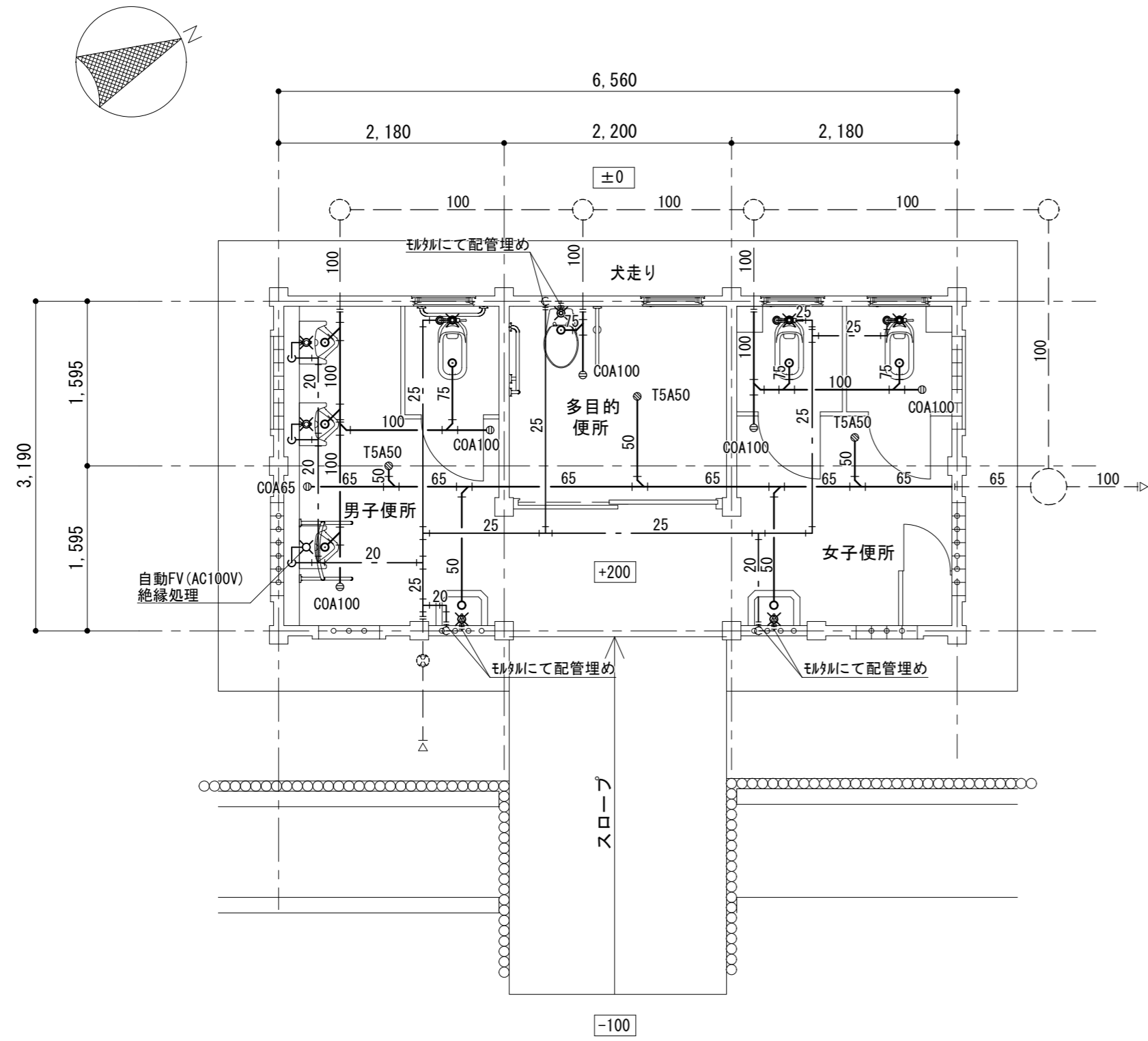
衛生器具表								
名称	仕様・参考型番				男子 便所	女子 便所	多 目 的 便 所	合 計
	L I X I L		T O T O					
洋風便器	BC-P20SM, DT-PA250CHTK (タンク蓋固定), CF-39CK-U (蓋無普通便座), 床給水金具, 他一式 CF-12C (紙巻器 SUS)	CS597BCS, SH596BAYR (タンク蓋固定), TC301V13W (普通便座), 床給水金具, 他一式 YH116 (紙巻器 SUS)			1	2		3
洋風便器 (多目的)	BC-P20SM, DT-PA250CHTK (タンク蓋固定), CF-39CK-U (蓋無普通便座), 床給水金具, 他一式 CF-63HST (棚付二連紙巻器 SUS)	CS597BCS, SH596BAYR (タンク蓋固定), TC301V13W (普通便座), 床給水金具, 他一式 YH701 (棚付二連紙巻器 SUS)					1	1
タオル棚 (SUS)	KF-41D	YTS408B			1	2	1	4
跳ね上げ手すり (SUS)	該当品なし	T113HK7R, 固定金具共					1	1
L型手すり (SUS)	KF-920S70D12, 固定金具共	T113BL10, 固定金具共					1	1
背もたれ	KFC-271T1U2, 固定金具共	EWC285CS, 固定金具共					1	1
フック	KF-28	YKH20R					1	1
壁掛洗面器	L-275AN, LF-P02B (自閉式立水栓), LF-105PA, 壁給排水金物, 他一式	L270D, T19AR (自閉式立水栓), T6PM1, 壁給排水金物, 他一式					1	1
壁掛小便器	U-406RU, UF-3JT (手動フラッシュバルブ), 他一式	UFH500, TG600PN (手動フラッシュバルブ), T9R, 他一式			2			2
小便器用手すり (SUS)	KF-701SJ, 固定金具共	T113BU22, 固定金具共			1			1
壁掛洗面器	L-176UAN, LF-P02B (自閉式立水栓), 壁給排水金物, 他一式	L210C, T19AR (自閉式立水栓), T6PM1, 壁給排水金物, 他一式			1	1		2
キ付横水栓	LF-35G-13-CV	T28AKUH13			1	1		2

● ● ● ● ● ● ● ●	工事名 / Title	給排水衛生設備 凡例・衛生器具表	Check	No.	 合資会社 重企建築事務所 Jyuki Architectural Design Office 一級建築士事務所 三重県知事登録第1-300号 一級建築士国土交通省大臣登録第167163号 山田 裕治
	お城公園便所改修工事	縮尺 / Scale 原図 : A2 日付 / Date		M - 3	
		—			

給排水衛生設備 撤去工事要領

- ・既設衛生器具、給排水管、付属金具等を撤去する。
- ・壁内不要埋込配管は管端部処理の上放置とする。

- ・既設不要配管口穴埋めは本工事とする。



改修前

撤去 衛生器具表 (男子便所)		
名称	仕様	数量
和風便器	FV 紙巻器	1
手すり	I型	1
小便器	FV 自動水栓 (AC100V)	1
小便器	FV	2
手すり	小便器用	1
単水栓	13A	1

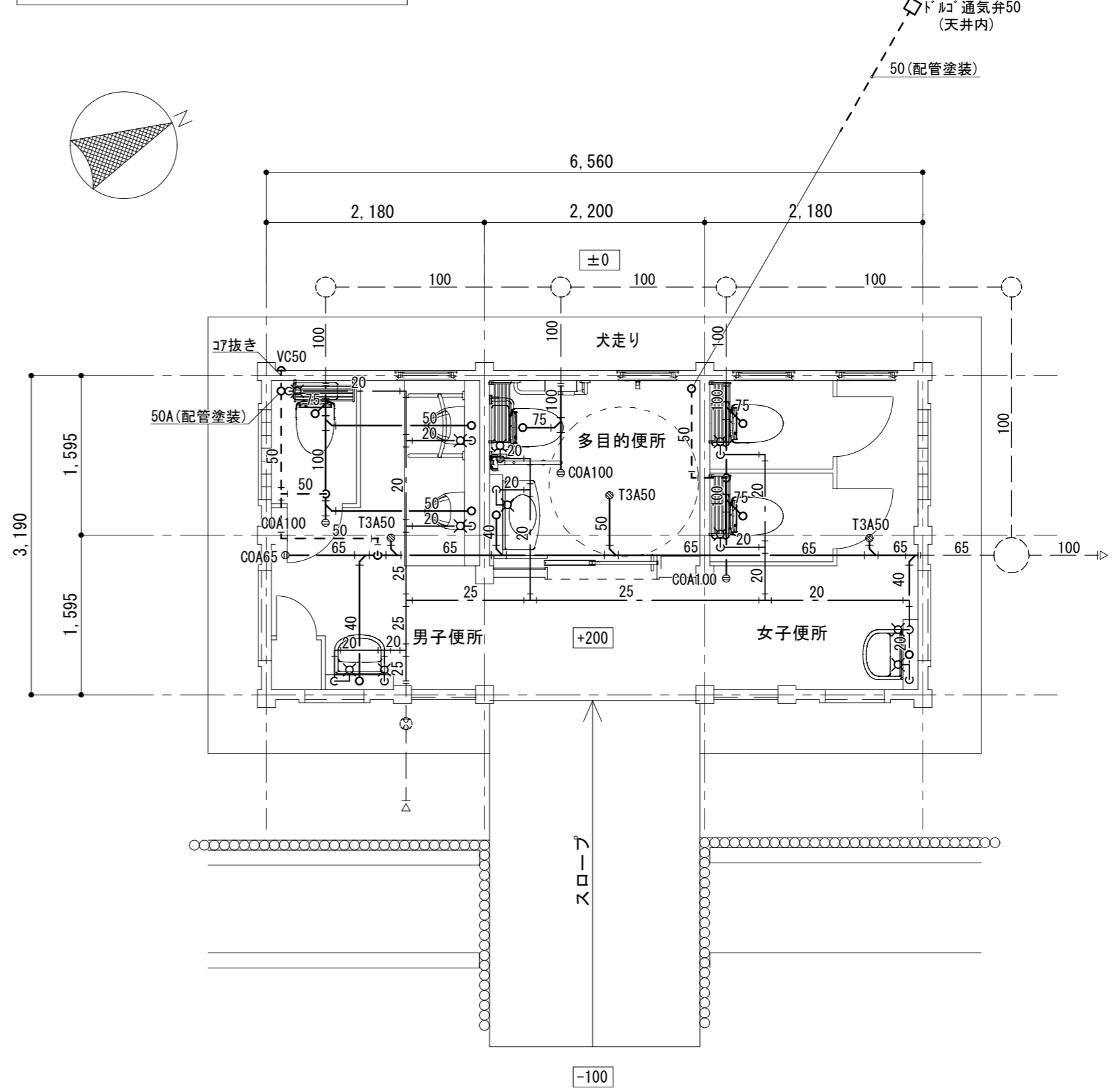
撤去 衛生器具表 (多目的便所)		
名称	仕様	数量
多目的便器	リモコンFV 紙巻器	1
手すり	L型	1
手すり	T型	1

撤去 衛生器具表 (女子便所)		
名称	仕様	数量
和風便器	FV 紙巻器	2
単水栓	13A	1

給排水衛生設備 新設工事要領

- ・衛生器具、給排水管、付属金具等を新設する。
- ・既設壁貫通部は既設穴を原則利用する。

- ・既設不要配管口穴埋めは本工事とする。



改修後

工事名 / Title
お城公園便所改修工事

給排水衛生設備
平面図 (改修前・改修後)
縮尺 / Scale 原図 : A2 日付 / Date
1 / 50

Check No.
M - 4